民族と言語
ミャンマーの諸民族と諸言語

かとう　あつひこ
加藤 昌彦
慶應義塾大学言語文化研究所

協力

大塚行誠 先生 (大阪大学外国語学部)

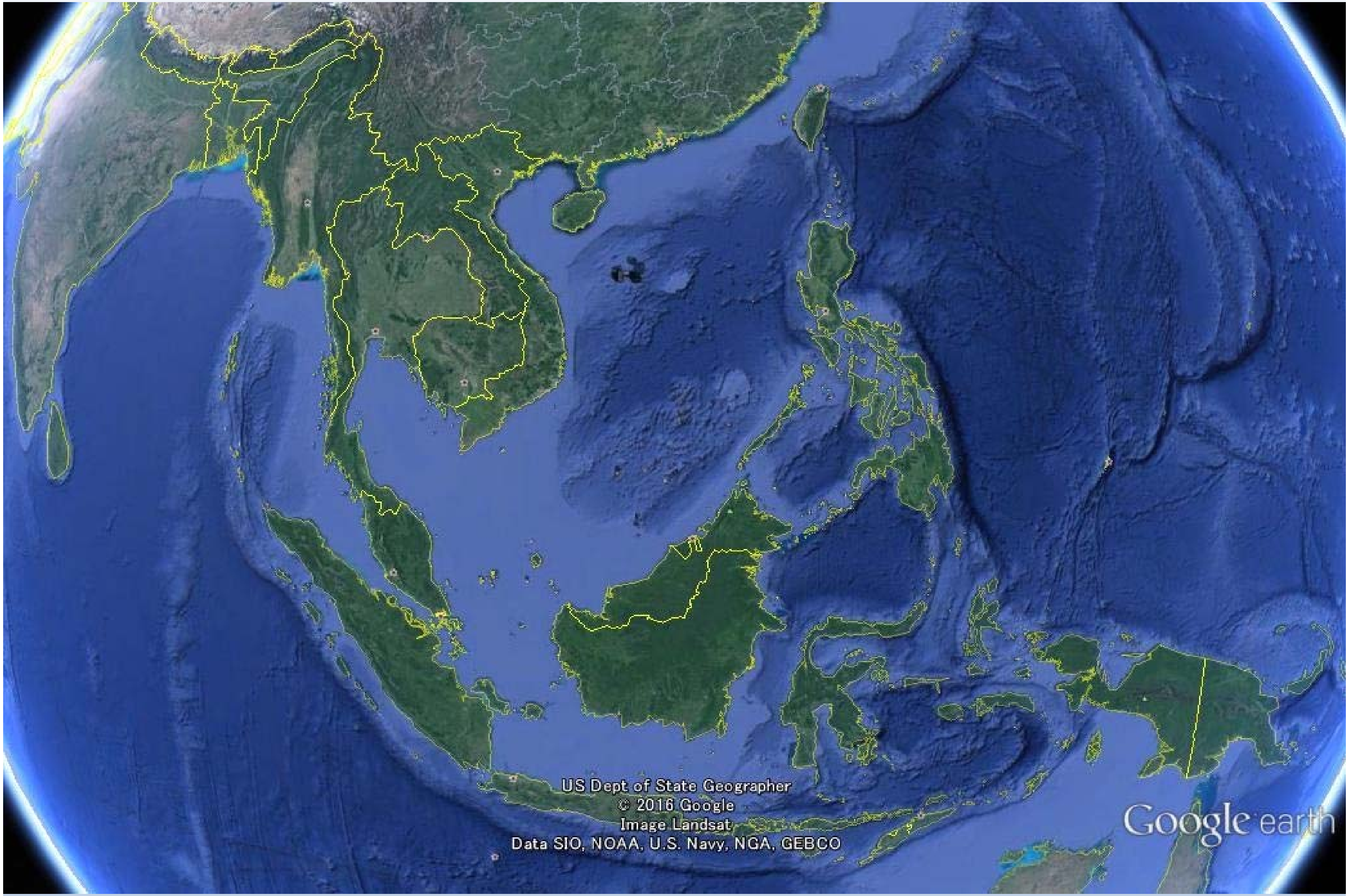
倉部慶太 先生 (東京外国語大学AA研)

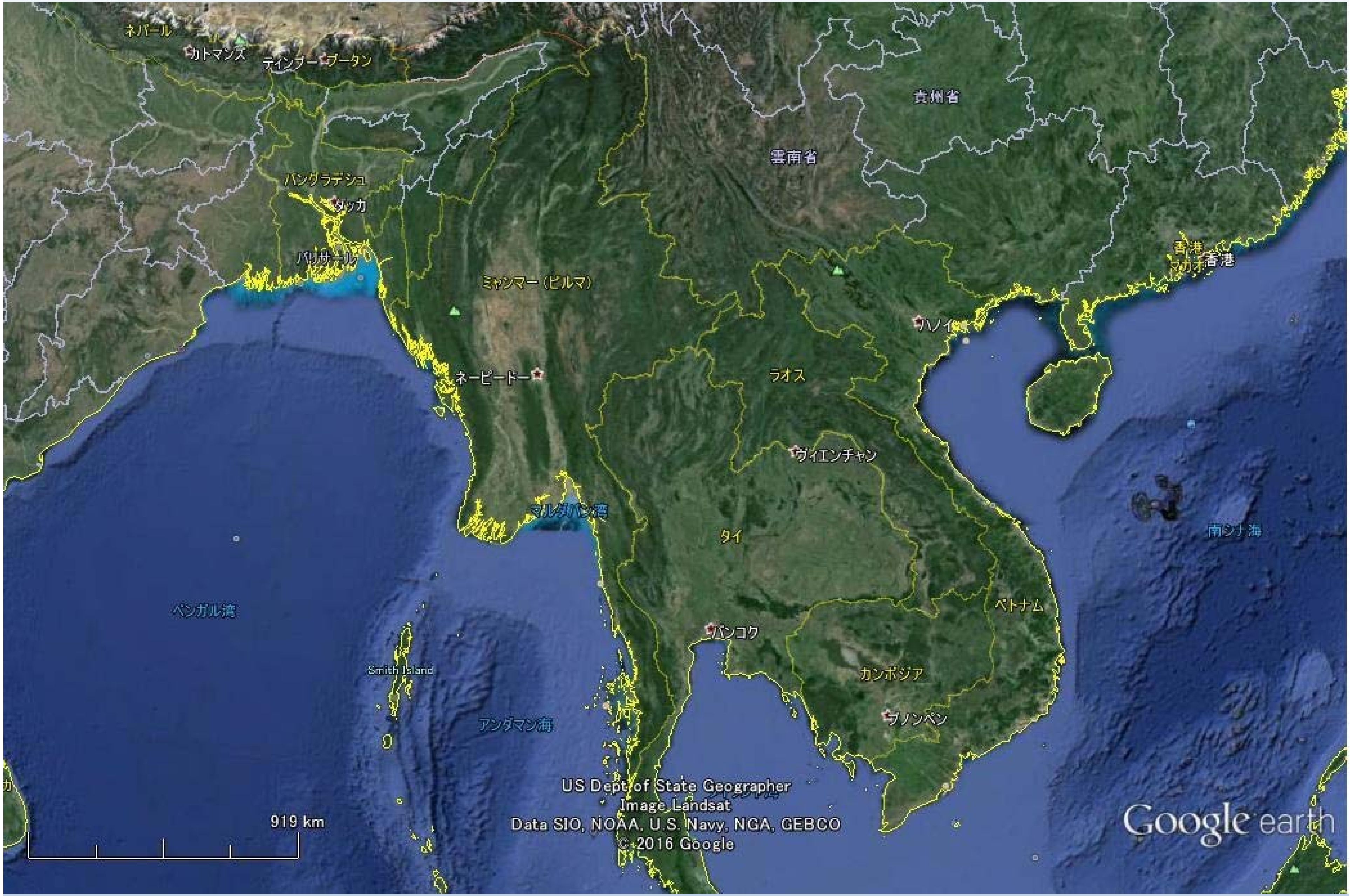
加藤昌彦
「ミャンマーの諸民族と諸言語」
ICD NEWS (法務省法務総合研究所国際協力部報) 69号, pp. 8-26. 2016年12月

※注：「人（じん）」と「族（ぞく）」について

・ミャンマー人(ビルマ人)
・ビルマ族

今回の講演では、ミャンマー国籍を持つ人をミャンマー人(あるいはビルマ人)と呼び、ミャンマーに住む様々な民族を〇〇族(例：ビルマ族)と呼ぶ。「族」に侮蔑的な意味が含まれる場合があるので避けるべしとの考え方もあるが、今回は「国籍」と「民族の種類」を区別する目的で「族」を用いることにする。


US Dept of State Geographer
© 2016 Google
Image Landsat
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Google earth


ネパール
カトマンズ
ティンプー
ブータン
貴州省
雲南省
バングラデシュ
ダッカ
バリサール
ミャンマー（ビルマ）
香港
マカオ
香港
ハノイ
ネーピードー
ラオス
ヴィエンチャン
マルタバン湾
タイ
南シナ海
ベンガル湾
ベトナム
バンコク
Smith Island
カンボジア
アンダマン海
プノンペン
US Dept of State Geographer
Image Landsat
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
© 2016 Google
919 km
Google earth

ヤンゴン市内の風景

ヤンゴン市内の風景

シュエダゴン・パゴダの境内

ヤンゴンの風景(カンドージー湖とシュエダゴン・パゴダ)

ビルマ文字の看板(ヤンゴン市内)

ビルマの竪琴

スーレー・パゴダの境内(ヤンゴン市内)

ヤンゴンの中華街

バガン(11世紀にビルマ族最古の王朝が成立)

バガンの遺跡群

バガンの遺跡群

ビルマ族の少年と少女

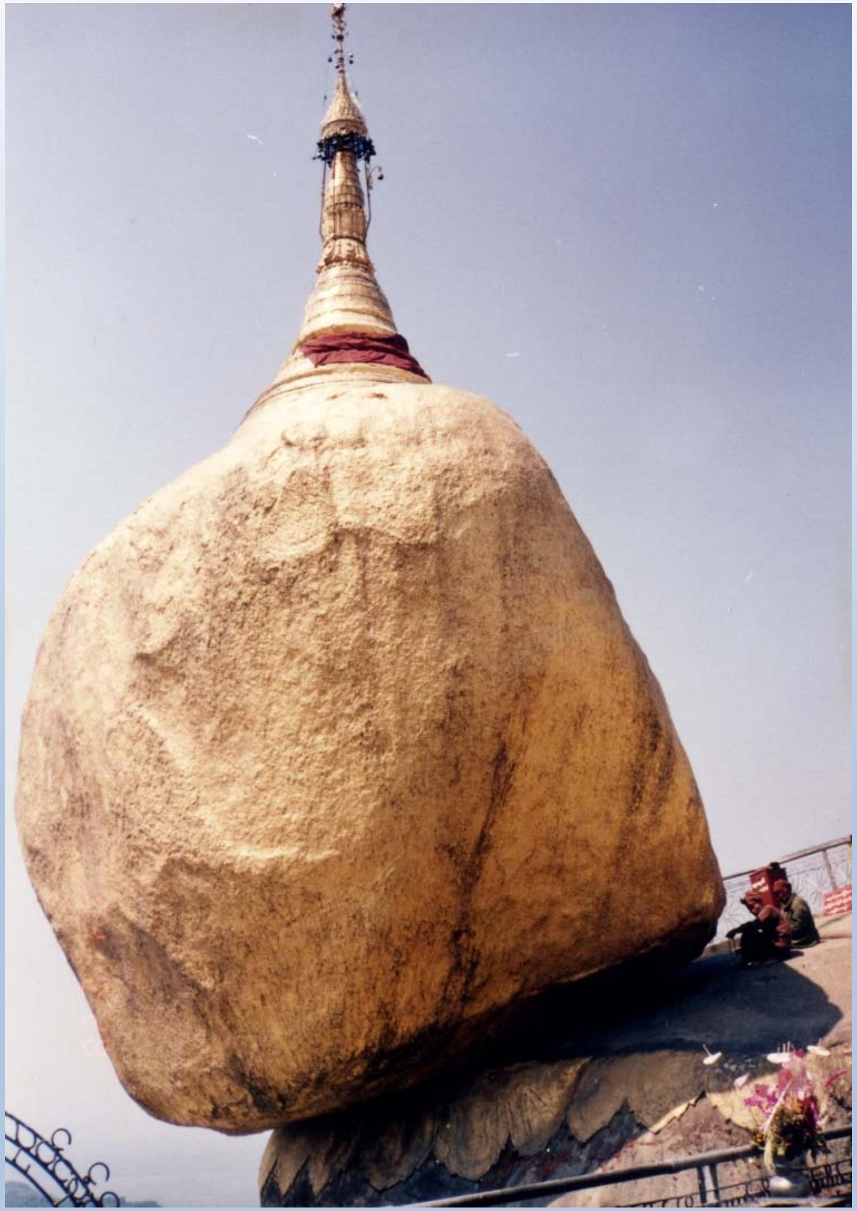
マンダレー(ビルマ族の王朝最後の都があった(1860ー1885)

田舎の風景

ミャンマー最北端付近の風景

ミャンマー最南端付近の風景

ガパリーの海岸(ラカイン州)



チャイティーヨー・パゴダ(モン州)

ミャンマー留学中の通学風景

ヤンゴンの子供たち

ヤンゴン市内の風景

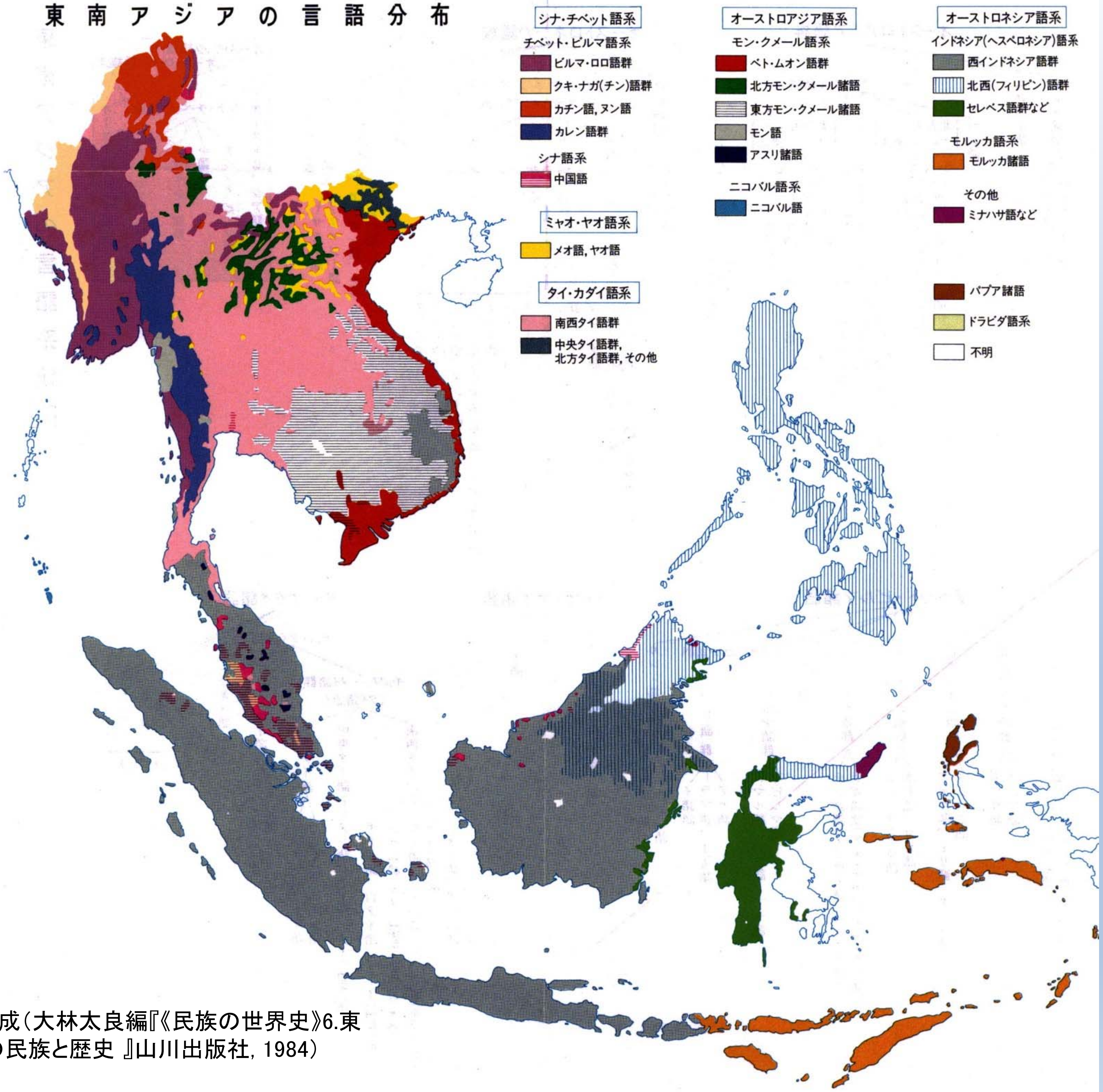
ヤンゴン市内のショッピングモール

ヤンゴンの中心部

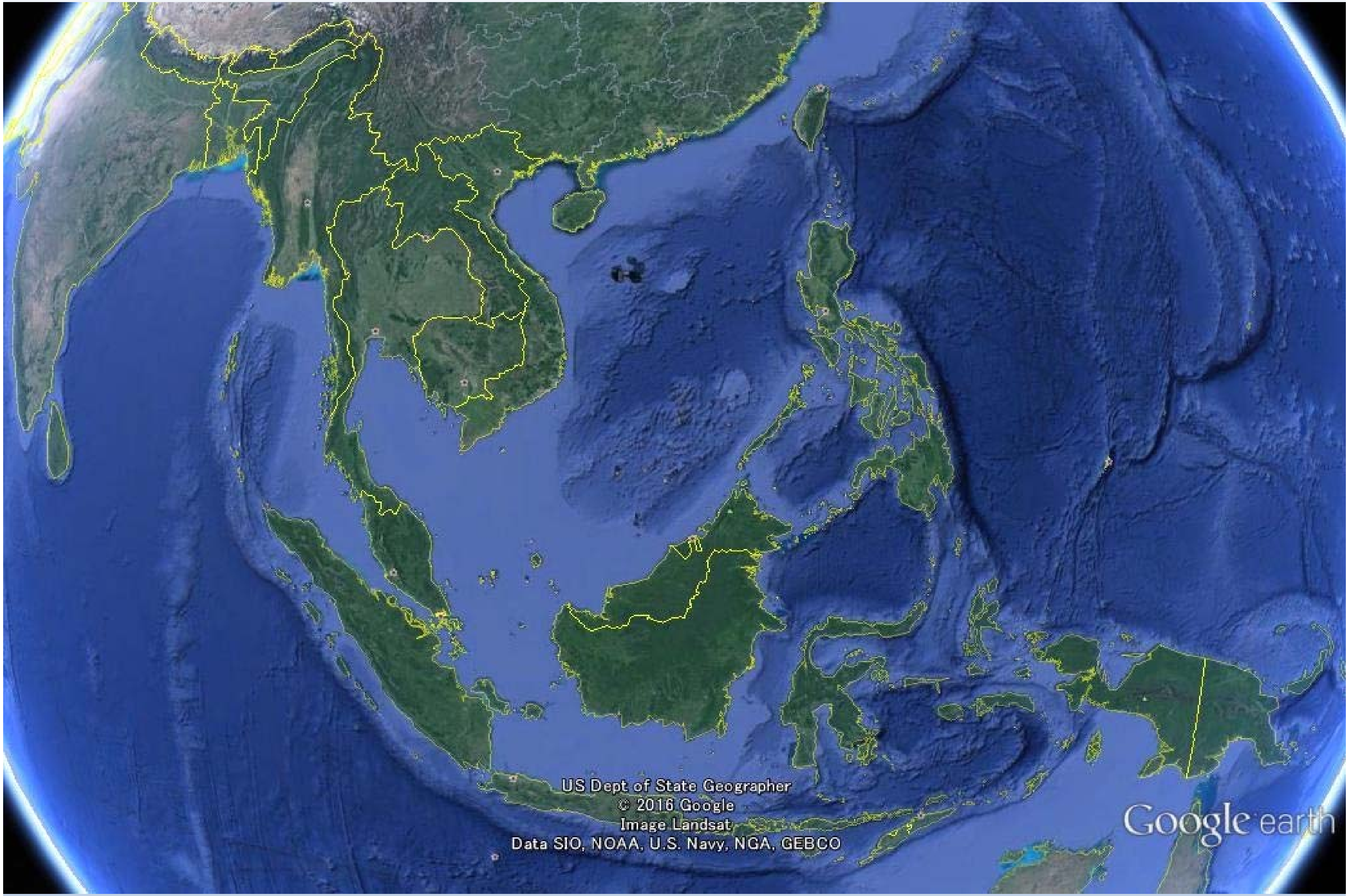
ミャンマーとビルマ

- 1989年に<u>**対外英語呼称**</u>をBurmaからMyanmarに変更。
- ビルマ語の呼称はမြန်မာ[myămà](文語的)とဗမာ[bămà](口語的)であり、元から正式にはမြန်မာ[myămà]が使われていた。すなわち、<u>ビルマ語の呼称は変わっていない</u>。[myămà]と[bămà]はどちらも千年ほど前の *mranma に由来する。
- 対外英語呼称Myanmarは文語的で正式なမြန်မာ[myămà]に合わせたもの。そのため、現地音尊重という点ではMyanmarを使うのが適切。
- 以前の対外英語呼称Burmaは、千年前の*mranma が転訛してできた16世紀の*bramaあるいは*barmaといった発音を英国人が聴いて借用した形であると考えられる。(日本語の「ビルマ」はオランダ語呼称Birmaに由来する。)
- 対外呼称変更にあたり、ミャンマー政府はမြန်မာ[myămà]がビルマ族だけでなく全民族を含む概念を表すという点で相応しいとした。この主張が必ずしも事実に沿っておらず、議論を呼ぶ観点でもある。
- 私自身は、ビルマ語の正式呼称を尊重するという点で、Myanmarを使うことに問題なしと考える。(私は普段、国名を言う時には「ミャンマー」と「ビルマ」のどちらも使うことがあり、言語名を言う時には「ビルマ語」を使っている。)

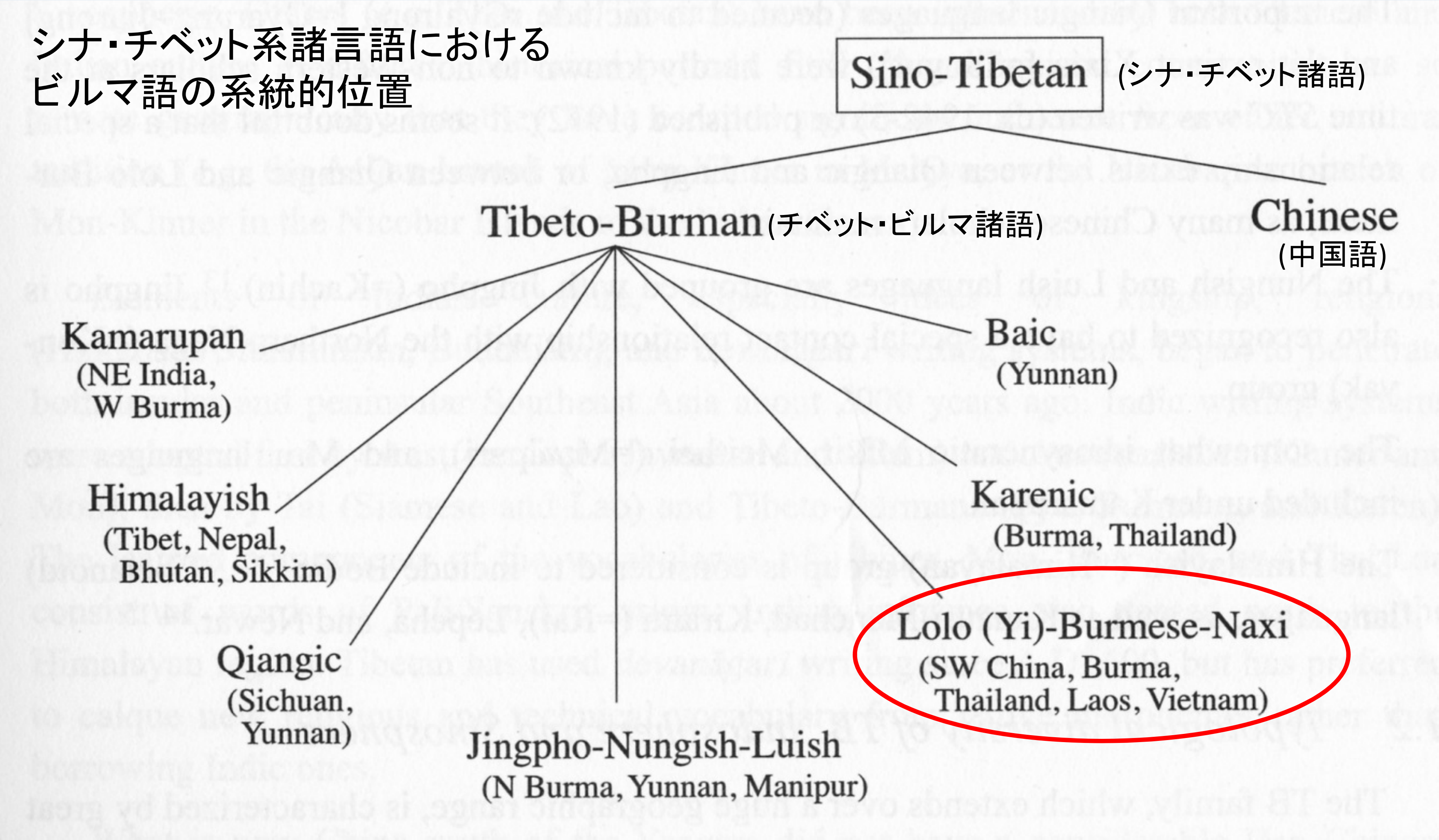
ビルマ語について



三谷恭之作成（大林太良編『《民族の世界史》6.東
南アジアの民族と歴史 』山川出版社, 1984）

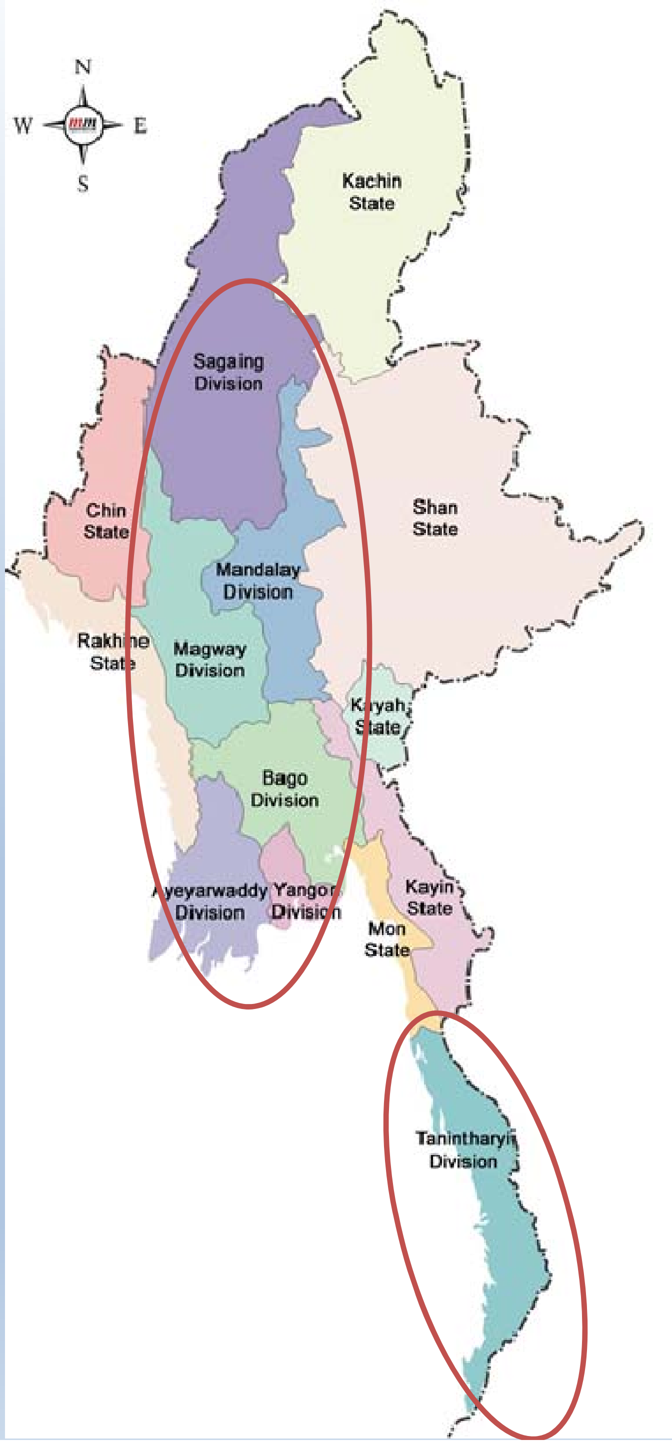

US Dept of State Geographer
© 2016 Google
Image Landsat
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Google earth

シナ・チベット系諸言語における
ビルマ語の系統的位置



Matisoff, James A. (2003) *Handbook of Proto-Tibeto-Burman*. Berkeley, Los Angeles and London: University of California Press.

シナ・チベット系諸言語の地理的分布


N
W
E
S
Kachin State
Sagaing Division
Chin State
Shan State
Mandalay Division
Magway Division
Bago Division
Kayin State
Mon State
Tanintharyi Division

ビルマ語の分布の中心

ビルマ語を聴いてみよう
NHKワールド JAPAN
ビルマ語番組
2020年6月30日放送分から

ビルマ語の文例

သူနဲ့ ကျွန်မက သိပ်ငယ်ငယ်တုန်းက တွေ့ခဲ့ကြတာတော့မဟုတ်ဘူး။

θù=nɛ̂ cămâ=gâ θeiʔ ŋèŋè=dóuɴ=gâ twê=gɛ̂=jâ=dà=dɔ̂ mă-houʔ=phú.

彼女=と 私(女)=は 非常に 幼い頃に 会う=た=(複)=の=は (否定)-そうだ=(否定)

「彼女と私は非常に幼い頃に会ったのではない。」

ရှစ်တန်း ကိုးတန်းရောက်မှ ဆုံမိကြတာ။

ɕiʔtáɴ kódáɴ yauʔ=hmâ shòuɴmî=jâ=dà.

8 学年 9 学年 着く=てから 遭遇する=(複)=のだ

「8 年生か 9 年生になってから出会ったのだ。」

သူက ရိုးတယ်၊ ပွင့်လင်းတယ်၊ သဘောလည်းကောင်းတယ်။

θù=gâ yó=dɛ̀, pwîɴlíɴ=dɛ̀, d̪ăbɔ́=lɛ́ káuɴ=dɛ̀.

彼女=は 純朴な=(現実) 率直な=(現実) 心=も 良い=(現実)

「彼女は真面目で、さっぱりしていて、優しかった。」

ဘာမှ ဟန်လုပ်တာ မဟုတ်ဘူး။

bà=hmâ hàɴ louʔ=tà mă-houʔ=phú.

何=も 素振り 作る=の (否定)-そうだ=(否定)

「飾ったところがなかった。」

အဲဒါကို ကျွန်မက ချစ်တာ။

ʔɛ́dà=gò cămâ=gâ chiʔ=tà.

それ=を 私(女)=は 愛する=のだ

「それが私は好きだったのだ。」

လူထုဒေါ်အမာ (Ludu Daw Amar) *ကျွန်မတို့ငယ်ငယ်က* (『私達が若かったとき』)から

言語から見る文化

- 敬虔な信仰心

(1) ကျိန်းတယ်　céiɴ dɛ̀　「(僧侶が)寝る」。普通は အိပ်တယ်　ʔeiʔ tɛ̀

(2) ပျံလွန်တော်မူတယ်　pyànlùɴ dɔ̀mù dɛ̀　「(僧侶が)死ぬ」。普通は သေတယ်　t̪è dɛ̀

(3) လျှောက်တယ်　ɕauʔ tɛ̀　「(僧侶に)言う」。普通は ပြောတယ်　pyɔ́ dɛ̀

(4) သပ္ပါယ်တယ် t̪aʔpɛ̀ dɛ̀　「(仏像などが)美しい」。普通は လှတယ်　hlâ dɛ̀

- 事象の把握の仕方

(5) စိတ်ပူတယ်　seiʔ pù dɛ̀　[直訳：心が暑い]

(6) စိတ်အေးတယ်　seiʔ ʔé dɛ̀　[直訳：心が寒い]

(7) သတ်ပေမယ့်မသေဘူး　t̪aʔ(殺す)　pèmɛ̂(のに)　mă t̪è bú(死なない)　「殺したのに死ななかった」

- 社会構造の反映

(8) မြတ်ထွန်း　myaʔ(尊い) thúɴ(輝く)　ミャットゥン（人名）

- 様々な民族とその言語

政府によれば、135種類の民族が住むとされる

1. Kachin, 2. Trone, 3. Dalaung, 4. Jinghpaw, 5. Gauri, 6. Hkahku, 7. Duleng, 8. Maru (Lawgore), 9. Rawang, 10. Lashi (La Chit), 11. Atsi, 12. Lisu, 13. Kayah, 14. Zayein, 15. Ka-Yun (Padaung), 16. Gheko, 17. Kebar, 18. Bre (Ka-Yaw), 19. Manu Manaw, 20. Yin Talai, 21. Yin Baw, 22. Kayin, 23. Kayinpyu, 24. Pa-Le-Chi, 25. Mon Kayin (Sarpyu), 26. Sgaw, 27. Ta-Lay-Pwa, 28. Paku, 29. Bwe, 30. Monnepwa, 31. Monpwa, 32. Shu (Pwo), 33. Chin, 34. Meithei (Kathe), 35. Saline, 36. Ka-Lin-Kaw (Lushay), 37. Khami, 38. Awa Khami, 39. Khawno, 40. Kaungso, 41. Kaung Saing Chin, 42. Kwelshin, 43. Kwangli (Sim), 44. Gunte (Lyente), 45. Gwete, 46. Ngorn, 47. Sizan, 48. Sentang, 49. Saing Zan, 50. Za-How, 51. Zotung, 52. Zo-pe, 53. Zo, 54. Zahnyet (Zannlet), 55. Tapong, 56. Tiddim (Hal-Dim), 57. Tay-Zan, 58. Taishon, 59. Thado, 60. Torr, 61. Dim, 62. Dai (Yindu), 63. Naga, 64. Tanghkul, 65. Malin, 66. Panun, 67. Magun, 68. Matu, 69. Miram (Mara), 70. Mi-er, 71. Mgan, 72. Lushei (Lushay), 73. Laymyo, 74. Lyente, 75. Lawhtu, 76. Lai, 77. Laizao, 78. Wakim (Mro), 79. Haulngo, 80. Anu, 81. Anun, 82. Oo-Pu, 83. Lhinbu, 84. Asho (Plain), 85. Rongtu, 86. Bamar, 87. Dawei, 88. Beik, 89. Yaw, 90. Yabein, 91. Kadu, 92. Ganan, 93. Salon, 94. Hpon, 95. Mon, 96. Rakhine, 97. Kamein, 98. Kwe Myi, 99. Daingnet, 100. Maramagyi, 101. Mro, 102. Thet, 103. Shan, 104. Yun (Lao), 105. Kwi, 106. Pyin, 107. Yao, 108. Danaw, 109. Pale, 110. En, 111. Son, 112. Khamu, 113. Kaw (Akha-E-Kaw), 114. Kokant, 115. Khamti Shan, 116. Hkun, 117. Taungyo, 118. Danu, 119. Palaung, 120. Man Zi, 121. Yin Kya, 122. Yin Net. 123. Shan Gale, 124. Shan Gyi, 125. Lahu, 126. Intha, 127. Eik-swair, 128. Pa-O, 129. Tai-Loi, 130. Tai-Lem, 131. Tai-Lon, 132. Tai-Lay, 133. Maingtha, 134. Maw Shan, 135. Wa

8つの主要民族

カチン (Kachin)

写真はミャンマーで出版されている民族紹介のパンフレットから引用

カヤー(=カレンニー) (Kayah, Karenni)

カレン(=カイン) (Karen, Kayin)

チン (Chin)

ビルマ (Burman, Bamar)

モン (Mon)

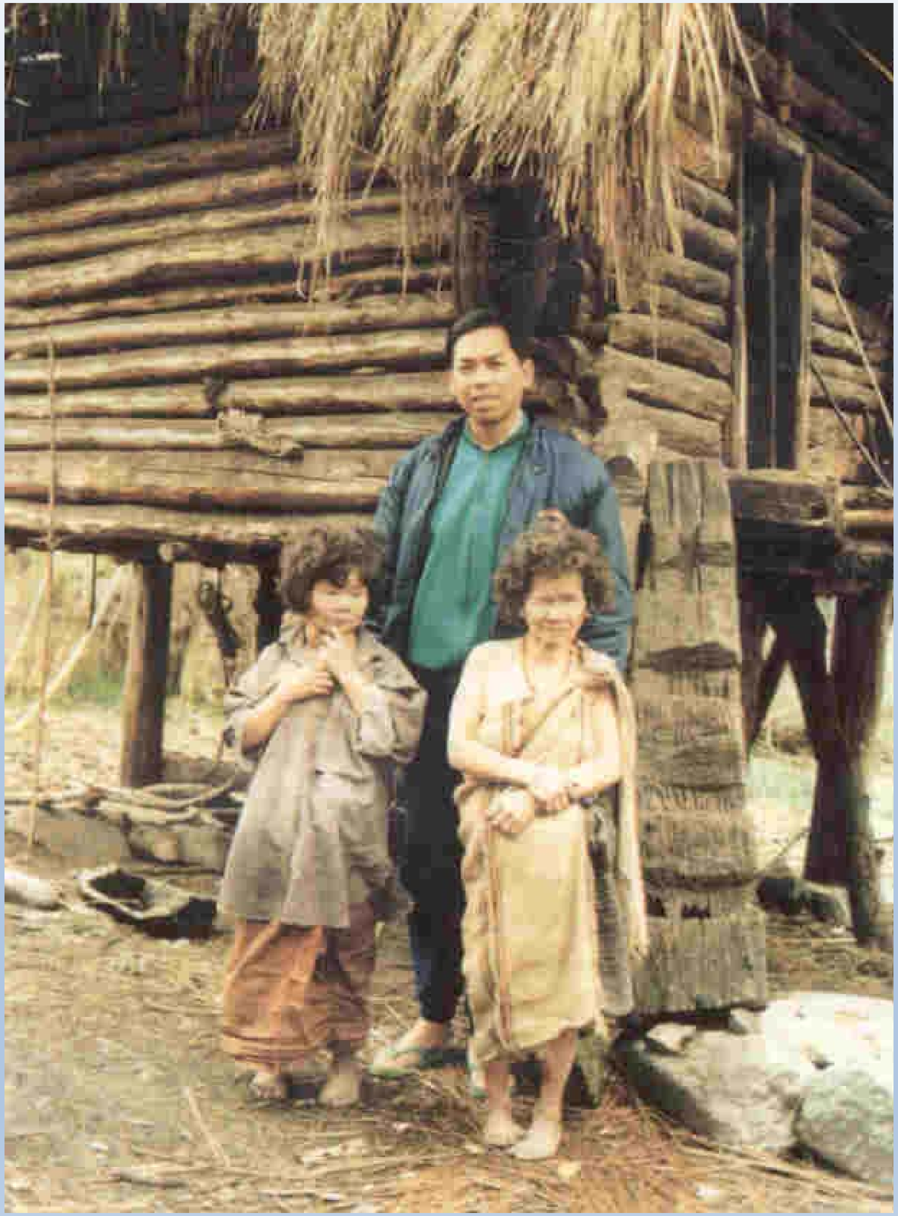
※ラオス等に住むモン(Hmong)とは違うことに注意。

ラカイン(=アラカン) (Rakhine, Arakan)

シャン (Shan)

以上が主要8民族
他にも色々な民族がいる

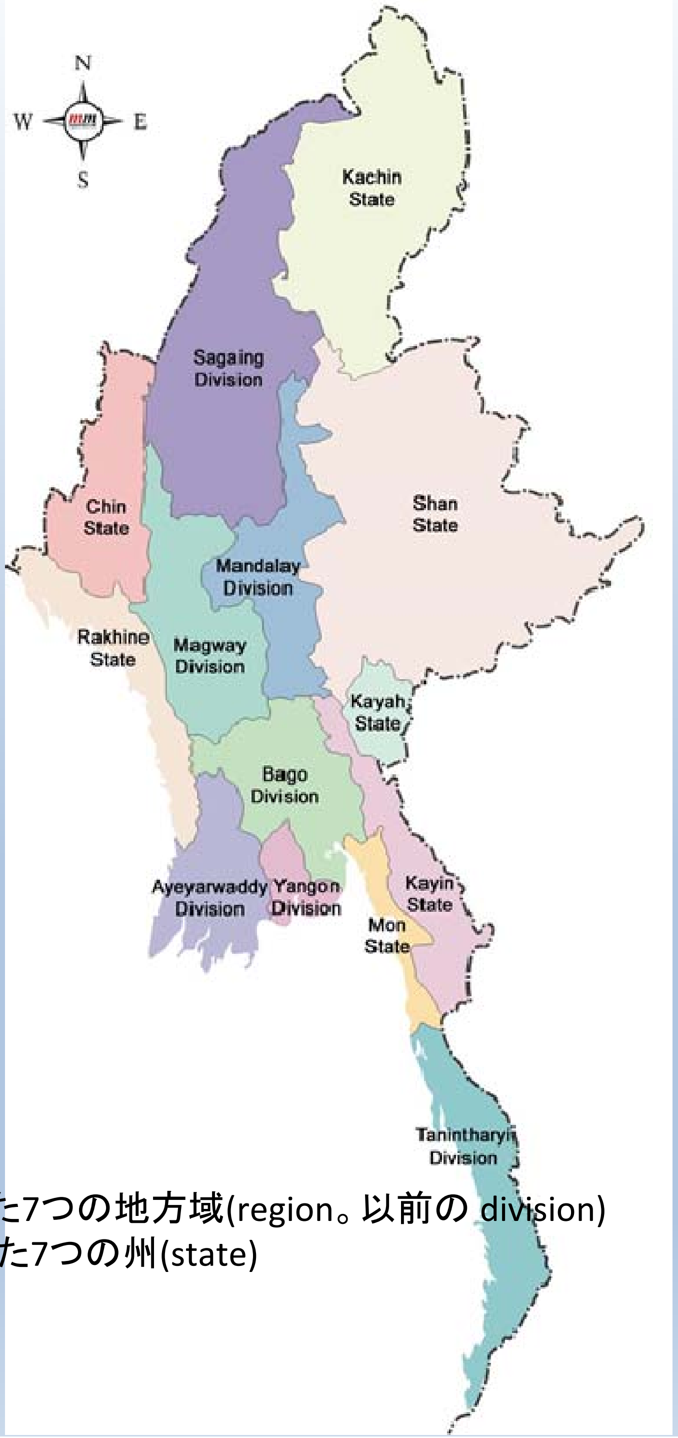
モーケン(サロン)



タロン

ナガ

カヤン (パダウン)



ミャンマーの行政区画
・ビルマ族の多い地域に置かれた7つの地方域(region。以前の division)
・少数民族の多い地域に置かれた7つの州(state)

主要民族の言語と語順、言語系統

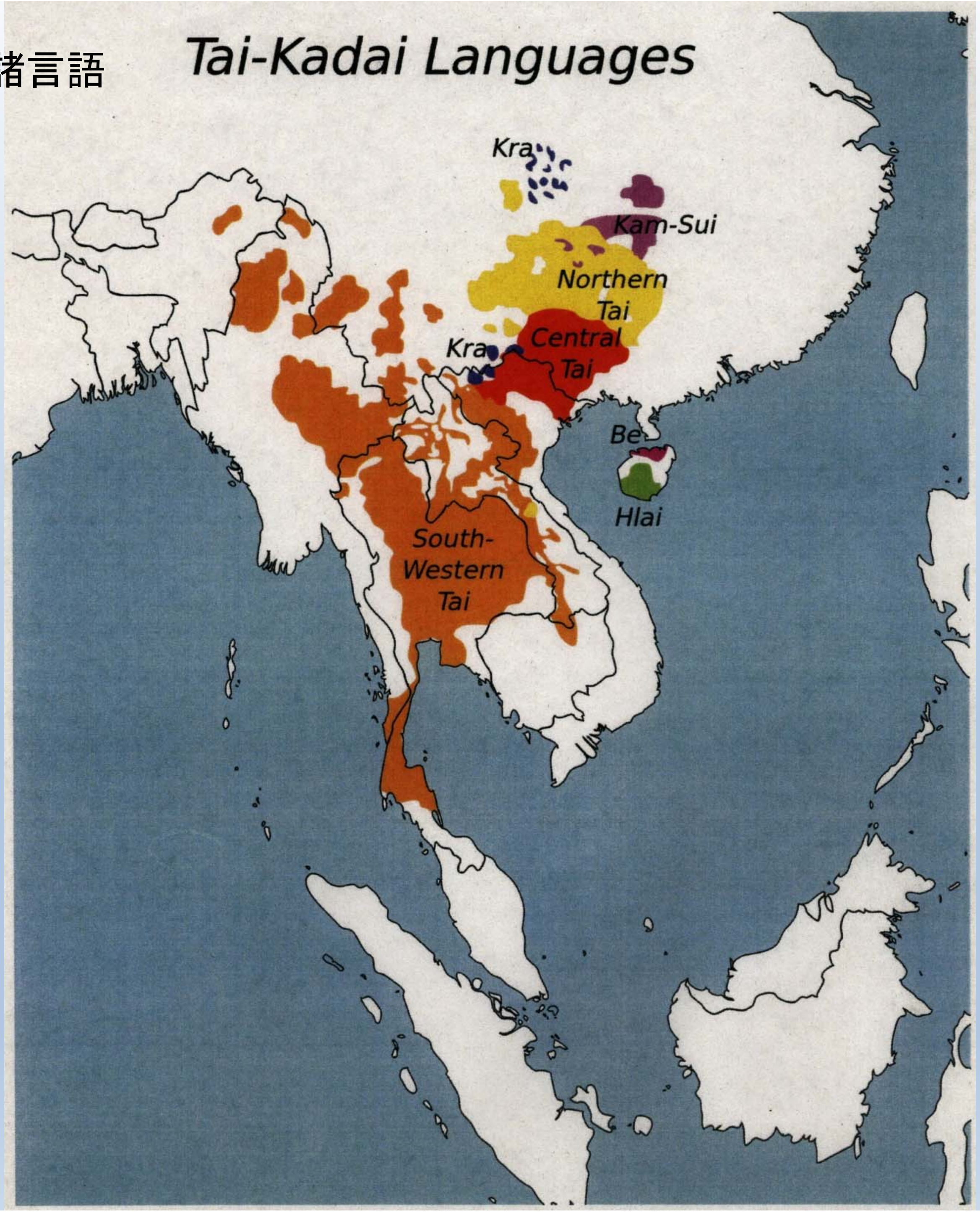
民族	主な言語	語順	言語系統
カチン	ジンポー語、ロンウォー語など	SOV	チベット・ビルマ系
カヤー	カヤー語など	SVO	チベット・ビルマ系
カレン	スゴー・カレン語、ポー・カレン語など	SVO	チベット・ビルマ系
チン	ライ語、ティディム・チン語など	SOV	チベット・ビルマ系
ビルマ	ビルマ語	SOV	チベット・ビルマ系
モン	モン語	SVO	モン・クメール系
ラカイン	ビルマ語シットゥエ方言、ビルマ語チャウピュー方言など	SOV	チベット・ビルマ系
シャン	シャン語	SVO	タイ・カダイ系

ミャンマーで話されている言語(200種以上?)の系統
- チベット・ビルマ系(< シナ・チベット諸語)
- モン・クメール系(< オーストロアジア諸語)
- タイ・カダイ系(< ?オーストロネシア諸語, ?シナ・チベット諸語)
- マライ・ポリネシア系(< オーストロネシア諸語)
- ミャオ・ヤオ系(< ?シナ・チベット諸語)
- インド・アーリア系(< インド・ヨーロッパ諸語)

チベット・ビルマ系諸言語(シナ・チベット語族に属す)の分布

モン・クメール系諸言語(オーストロアジア語族に属す)の分布

タイ・カダイ系諸言語の分布



Wikipedia, “Kra–Dai languages” から引用

マライ・ポリネシア系諸言語(オーストロネシア語族に属す)の分布

ミャオ・ヤオ系諸言語の分布

少数民族語はビルマ語とは別の言語である。

例えば、カレン族の言語とビルマ語を比べると…

(9) ယှ်အင်းမေဝ်ဒှေ့ရူး။ [ポー・カレン語]

jə	ʔáɴ	mì	dē	cɯ́
俺	食べる	ご飯	で	手

「俺は手でご飯を食べた」

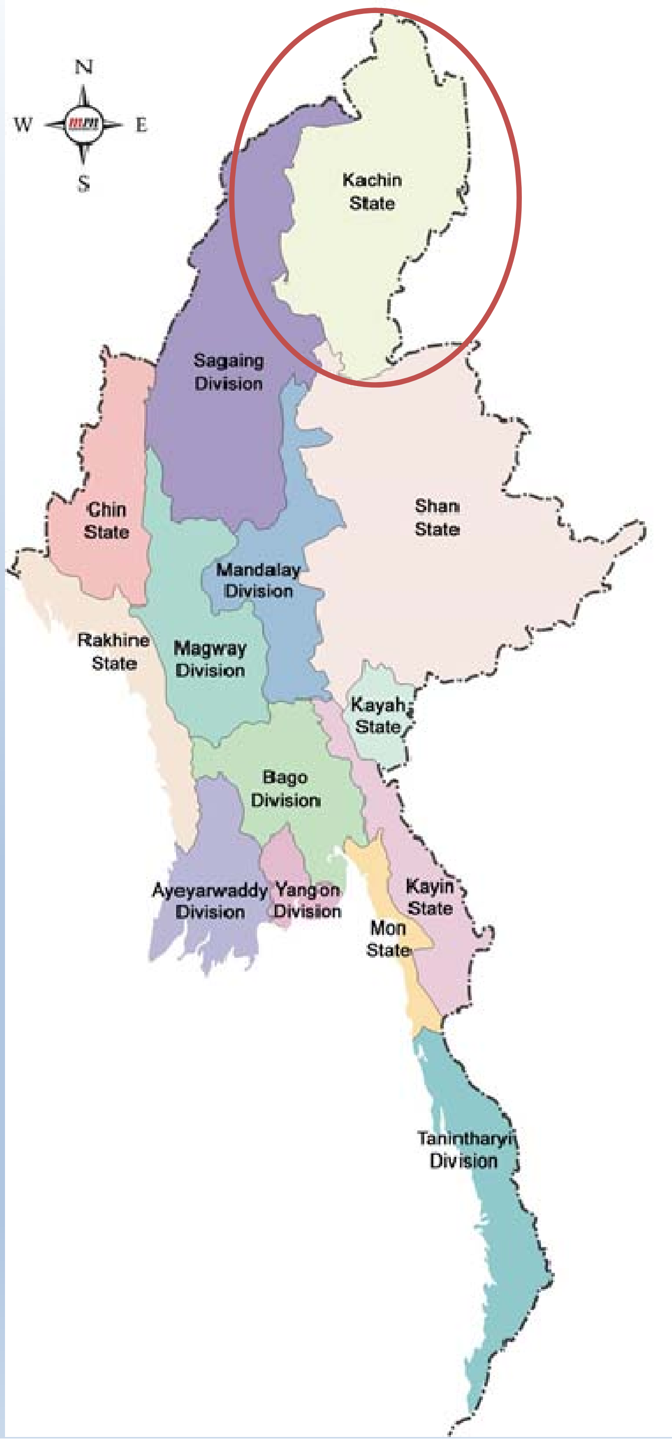
(10) ငါလက်နဲ့ထမင်းစားတယ်။ [ビルマ語]

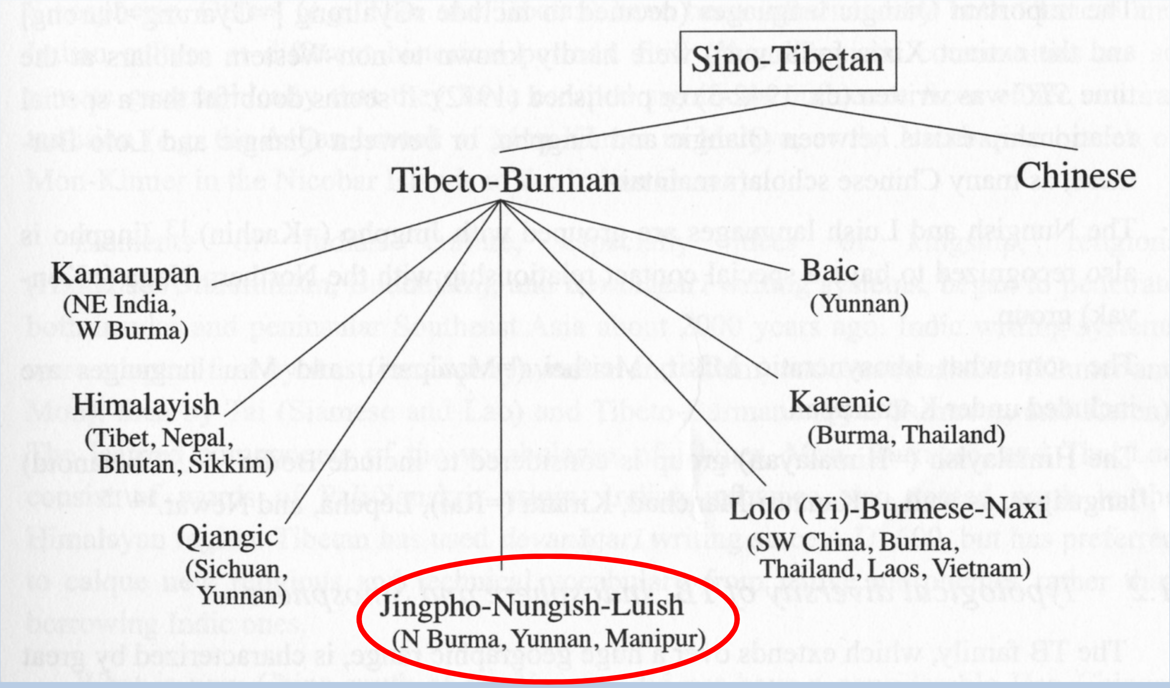
ŋà	lɛʔ	nɛ̂	thămíɴ	sá	dɛ̀
俺	手	で	ご飯	食べる	(現実)

「俺は手でご飯を食べた」

カチン Kachin

キリスト教徒が多い。





・カチン語 (Kurabe 2016: 417) 厳密にはジンポー語。正書法はローマ字。

(11)	ŋay	naŋ	phéʔ	tsóʔràʔ	ŋà	ŋ́ŋ-ʔay
	私	あなた	を	愛する	ている	1sg-DECL

「私はあなたを愛している」

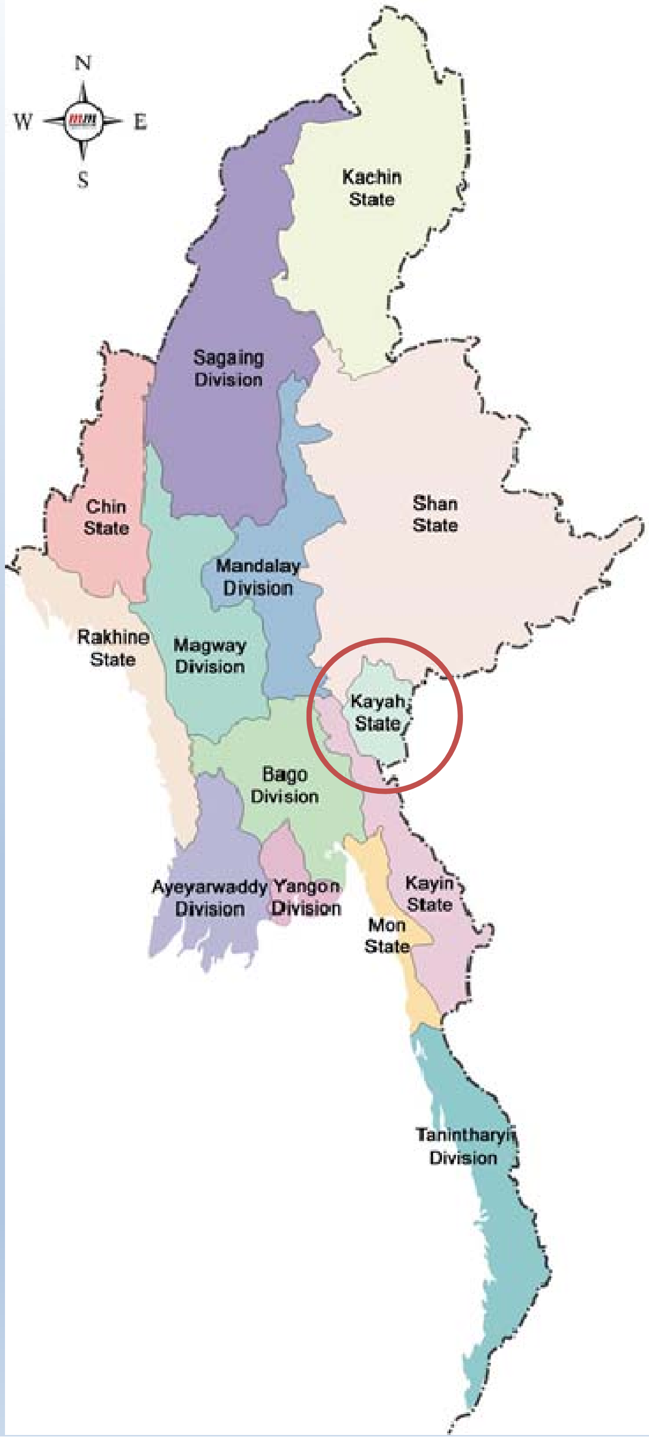
Kurabe, Keita [倉部慶太] (2016) A Grammar of Jinghpaw, from Northern Burma. 京都大学博士論文.

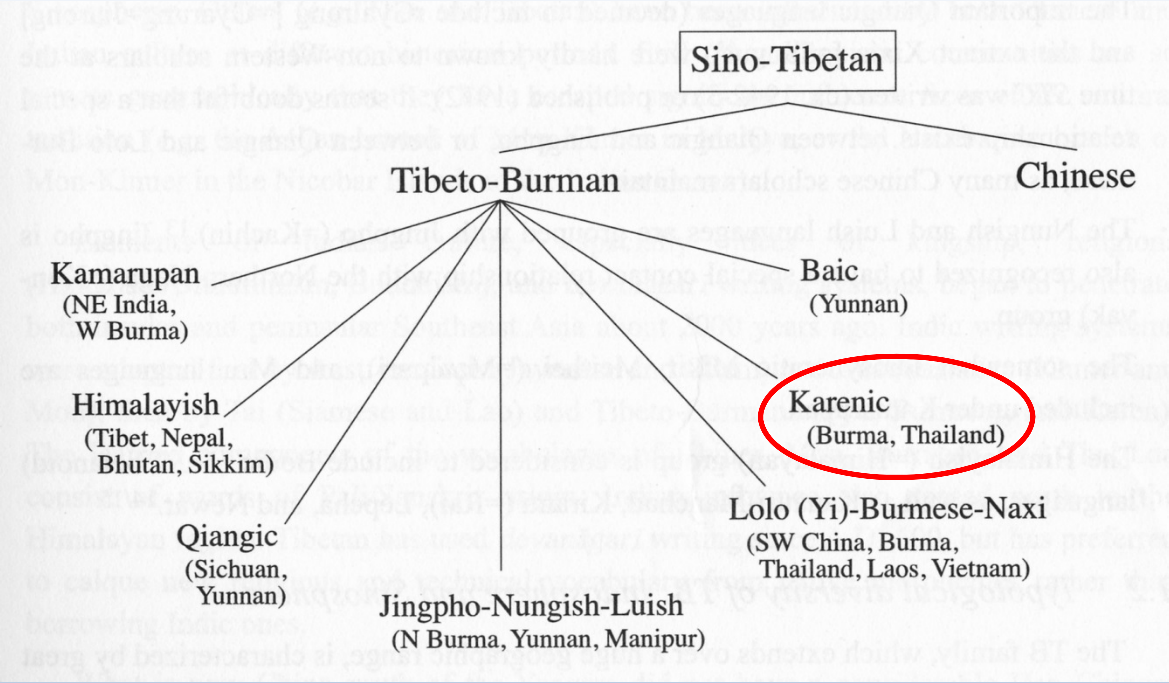
ジンポー語のニュース

協力：倉部慶太先生

カヤー Kayah, Karenni

キリスト教徒が多い。





・カヤー語 (Solnit 1997: 155) 正書法はローマ字またはモン=ビルマ系文字

(12)	sárá	ʔiswá	phúcè	li
	教師	教える	子供	文字

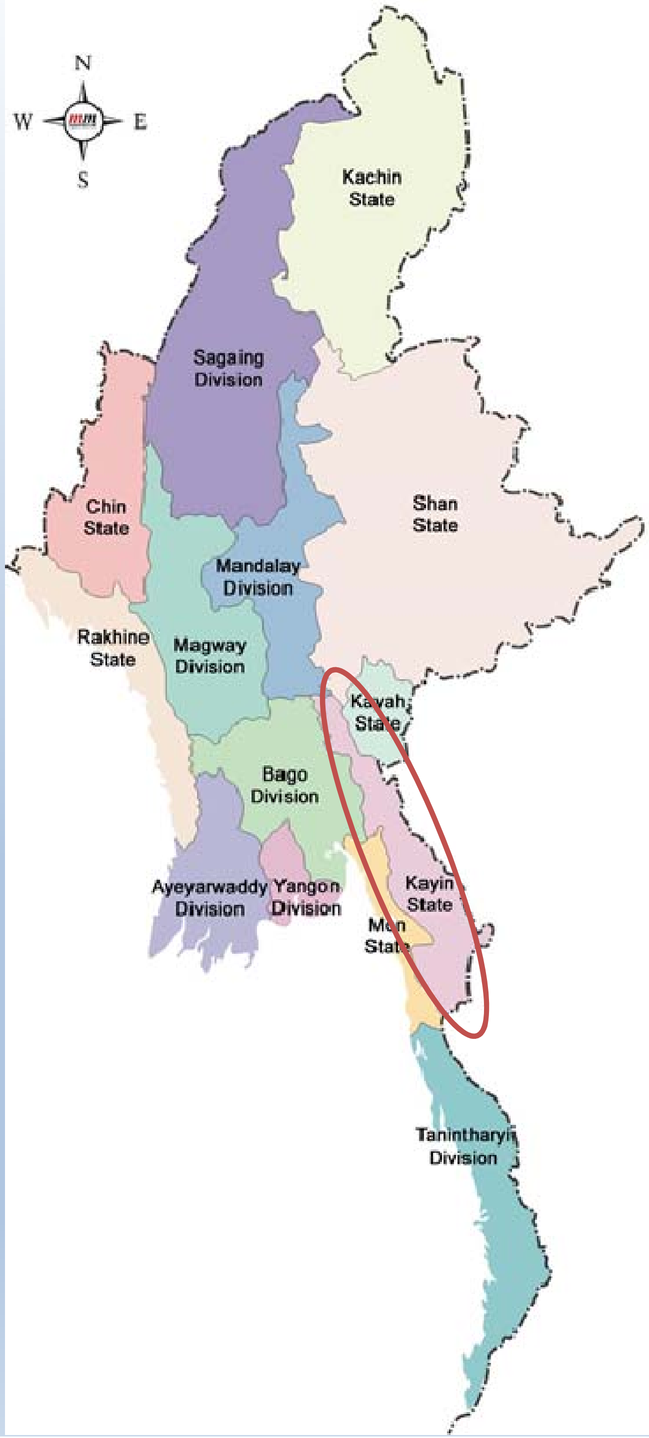
「先生が子供に書き方を教える」

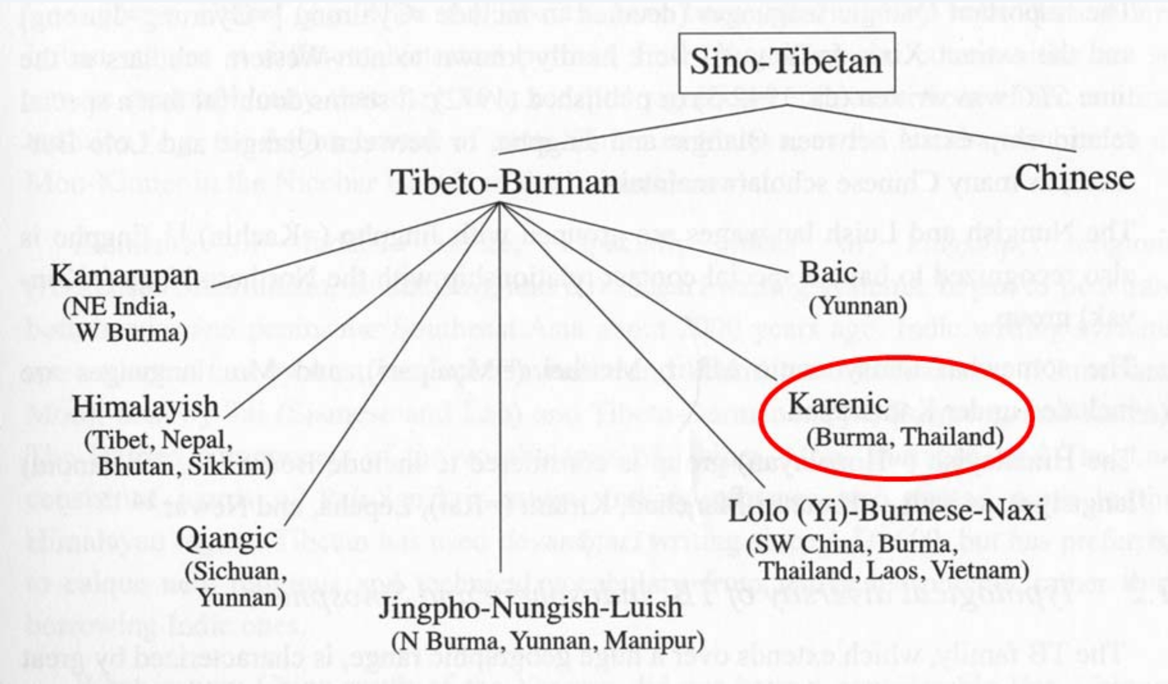
Solnit, David (1997) *Eastern Kayah Li: Grammar, Texts, Glossary*. Honolulu: University of Hawai'i Press.

カヤー語のニュース

カレン Karen, Kayin

仏教徒が最も多い。
キリスト教徒も多い。





・カレン語(ここではスゴー・カレン語の例を挙げる。(9)との違いに注意)

(13) ယအီၣ်မ့ၤဒီးစုၢ် [スゴー・カレン語]

jə ʔɔ̂ mē dɔ́ʔ sú́ɯ

俺 食べる ご飯 で 手 「俺は手でご飯を食べた」

正書法はモン=ビルマ系文字。
ただしローマ字や特殊文字なども。

(9) ယိုအၚ်းမေဝ်ဍေ့ဆုးႋ [ポー・カレン語]

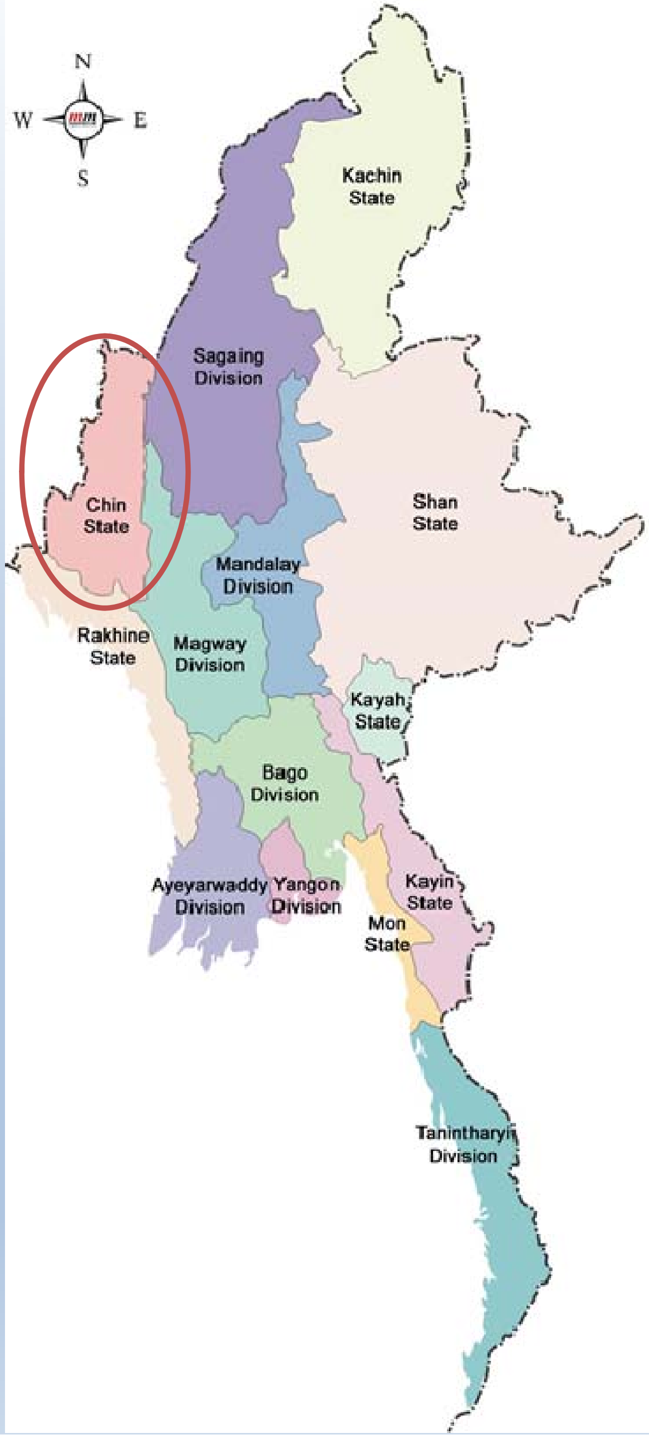
jə ʔáɴ mì dē cɯ́

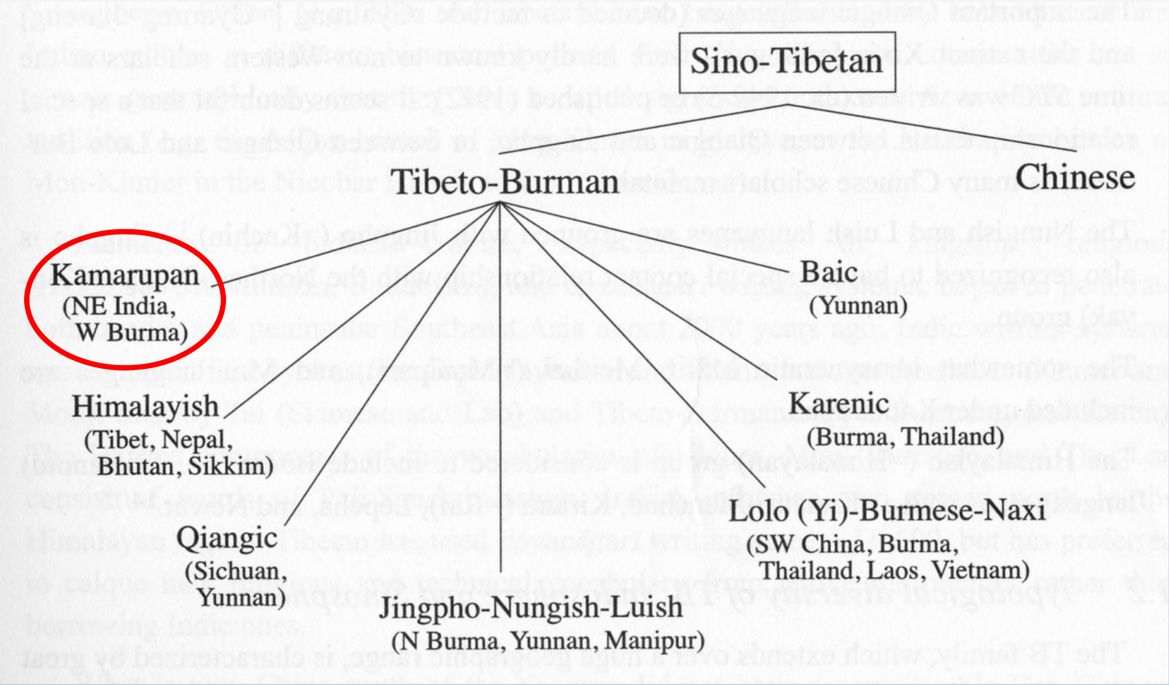
俺 食べる ご飯 で 手 「俺は手でご飯を食べた」

スゴー・カレン語のニュース

チン Chin

キリスト教徒が多い。





・チン語

正書法は主にローマ字。モン=ビルマ系文字を使う言語もある。

(14) ken3 taŋ1mâi2 thum2 lei1 =iŋ3 [ティディム・チン語] (Otsuka 2015: 130)
私は キュウリ 三 買う =1SG.REAL
「私はキュウリを３つ買った」

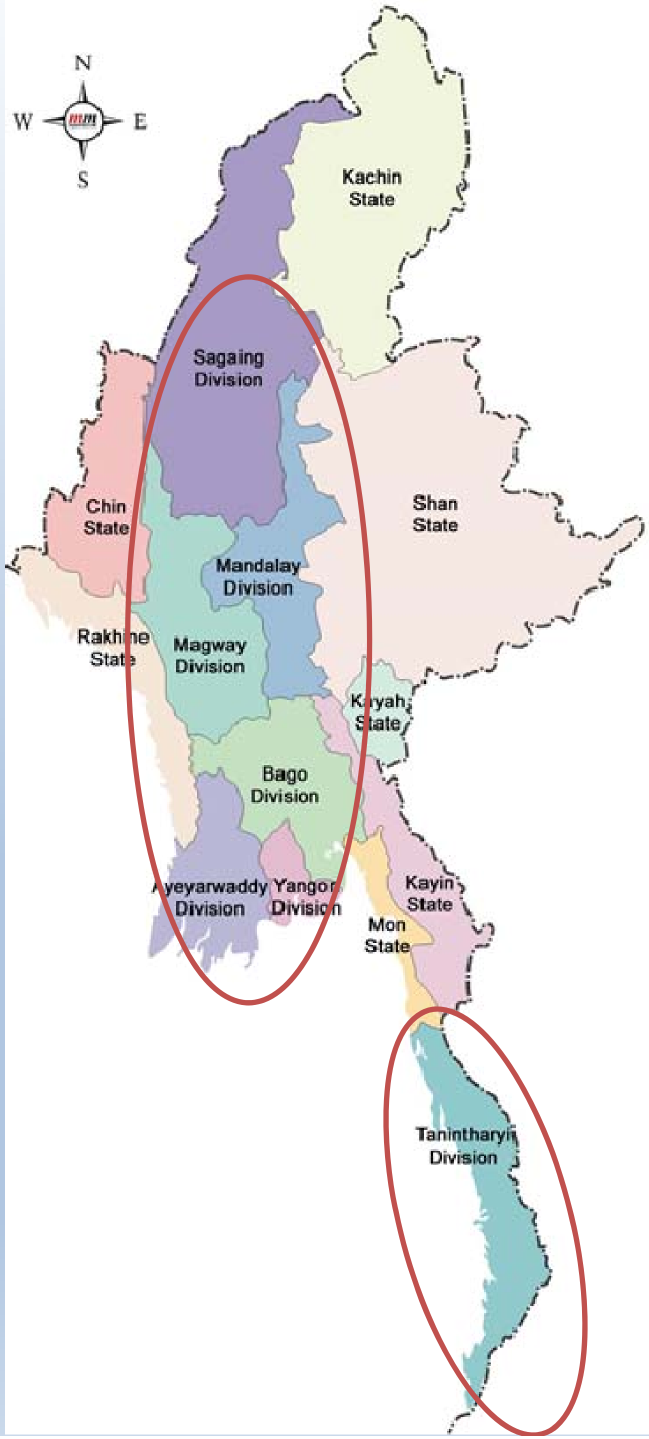
(15) tsakay-pool ka-va-kaap-hnaa-laay [ハカ・ライ語] (Peterson 2003: 415)
トラ-たち 1SG-行く-撃つ-3PL-だろう
「私はトラたちを撃ちに行く」

Otsuka, Kosei [大塚行誠](2015) Tiddim Chin. In Toshihide Nakayama, Noboru Yoshioka & Kosei Otsuka (eds.) *Grammatical Sketches from the Field* 2, pp. 109-141. Tokyo: Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa.

Peterson, David A. (2003) Hakha Lai. (In) Graham Thurgood & Randy LaPolla (eds.) *The Sino-Tibetan Languages*, pp. 409-426. London and New York: Routledge.

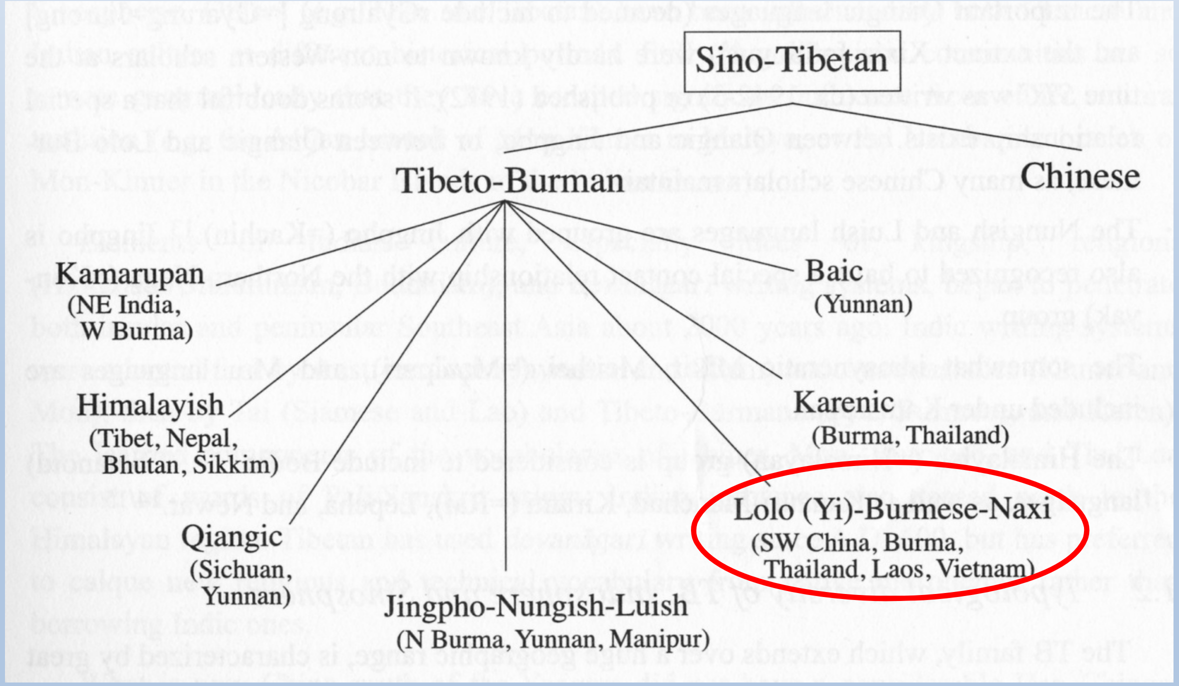
ファラム・チン語のニュース

協力：大塚行誠先生



ビルマ Burman, Bamar

仏教徒が多い。

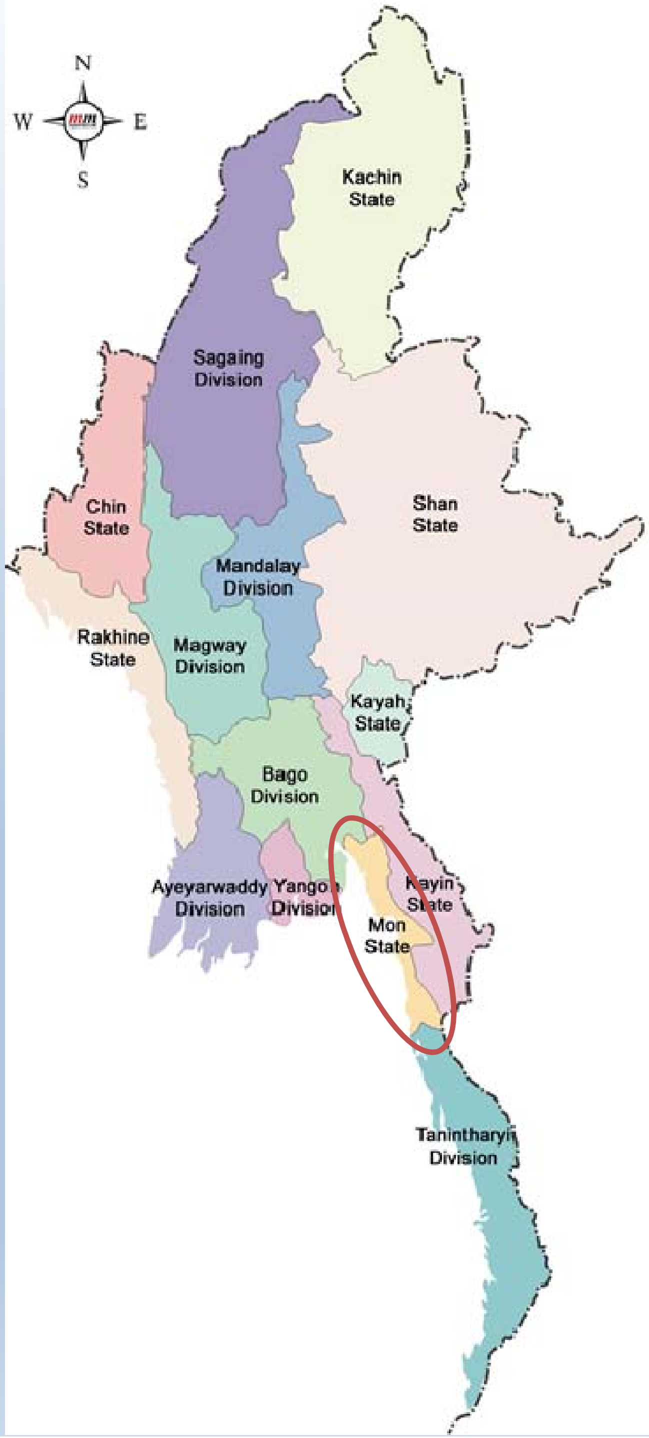


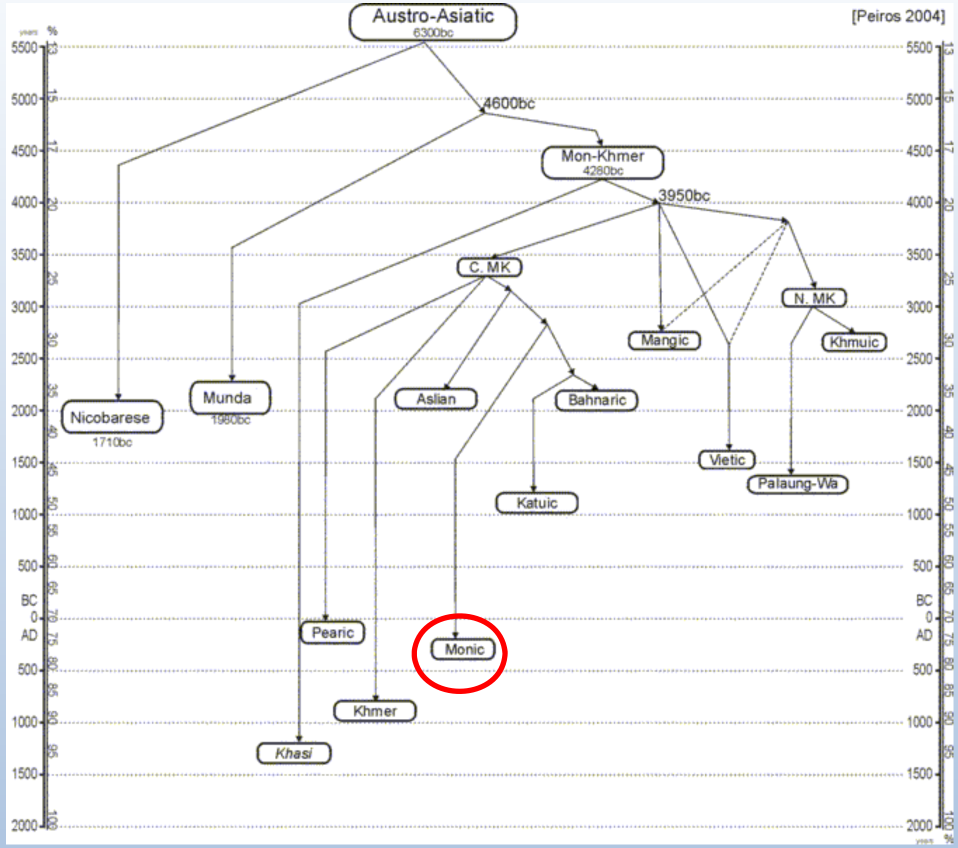
正書法はモン=ビルマ系文字。

ミャンマー国営放送のニュース

モン Mon

仏教徒が多い。





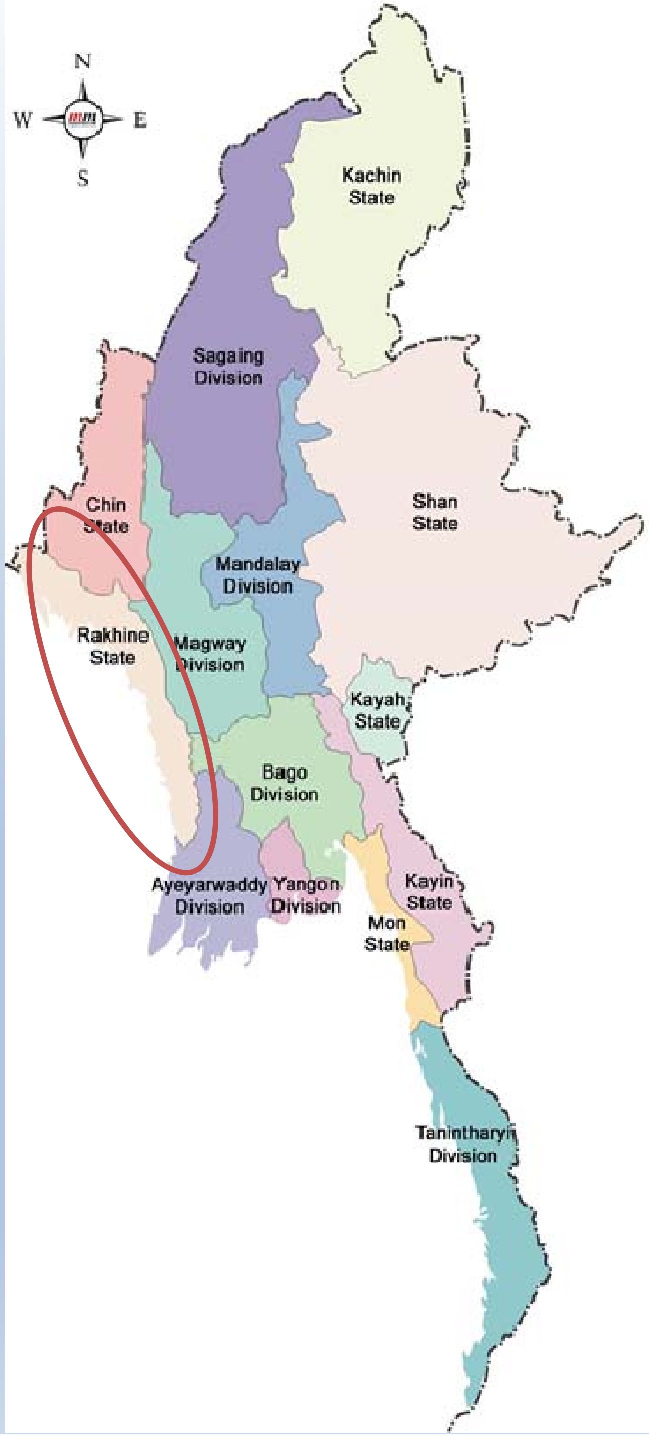
・モン語 (Jenny 2014: 586) 正書法はモン=ビルマ系文字。

(16)	miʔ	ràn	kwaɲ	kɒ	kon
	母	買う	菓子	ため	子

「母は子供のために菓子を買った」

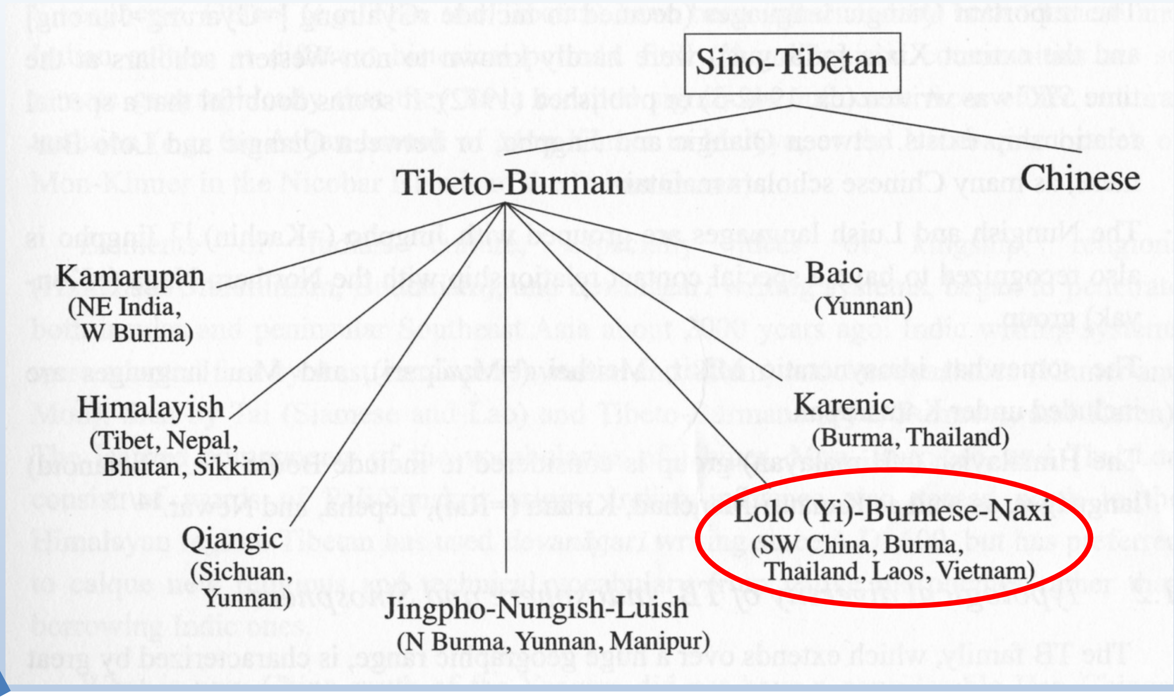
Jenny, Mathias（2014）Modern Mon. In Mathias Jenny & Paul Sidwell（eds.）*The Handbook of Austroasiatic Languages* Vol. 1, pp. 553-600. Leiden/Boston: Brill.

モン語のニュース



ラカイン Rakhine, Arakan

仏教徒が多い。



・ラカイン語(=ビルマ語ラカイン方言) (Okell 1995: 41) 正書法はモン=ビルマ系文字。

(17)	nauʔ	shò=gè,	dè	seiʔdɛʔ=câuɴ	wèdănà	phraiʔ=sɔ̀=tî	ɕî=rè
	後	言う=なら	この	精神=ため	苦痛	起きる=の=PL	ある=RL

「それから、この精神状態のため苦痛が起きることもある」

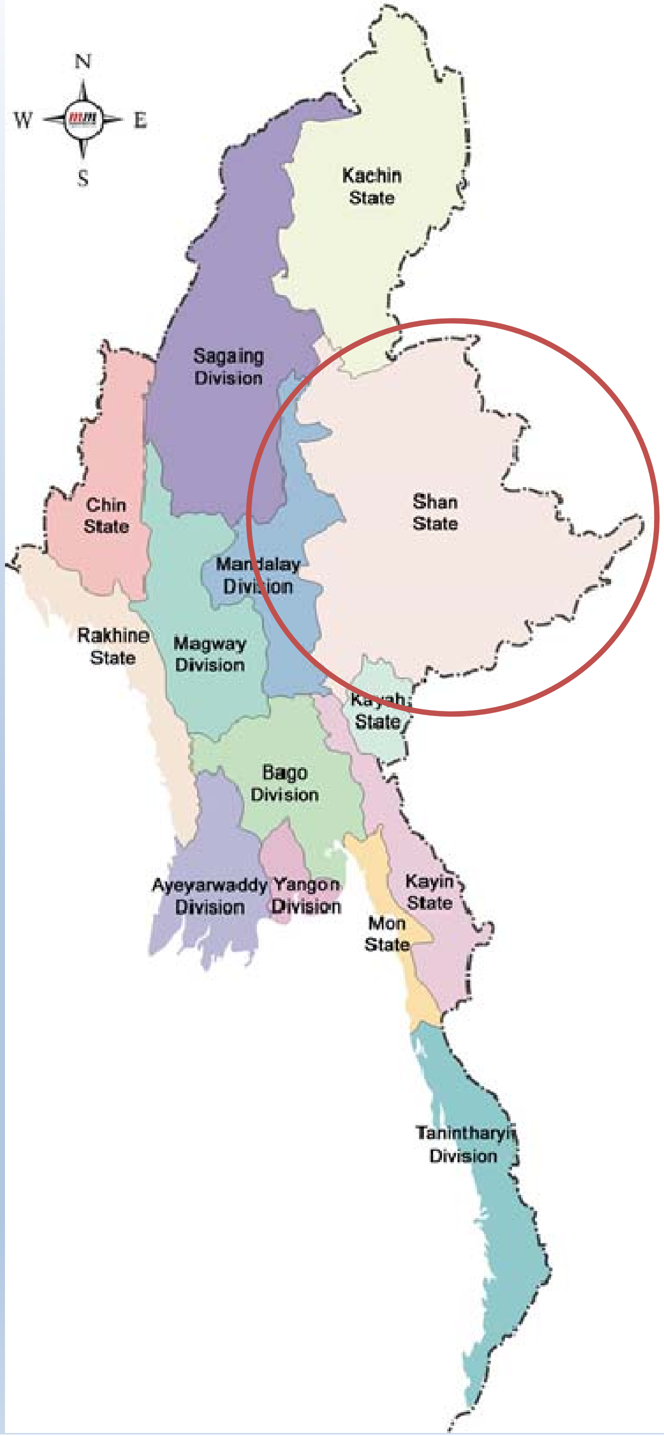
Okell, John (1995) Three Burmese dialects. In David Bradley (ed.) *Papers in Southeast Asian Linguistics No. 13: Studies in Burmese Languages*. Pacific Linguistics Series A-83, pp. 1-138.

・ビルマ語

(18)	nauʔ	pí=dɔ̂,	dì	seiʔdaʔ=câuɴ	wèdănà	phyiʔ=tà=dè	ɕî=dɛ̀
	後	終わる=と	この	精神=ため	苦痛	起きる=の=PL	ある=RL

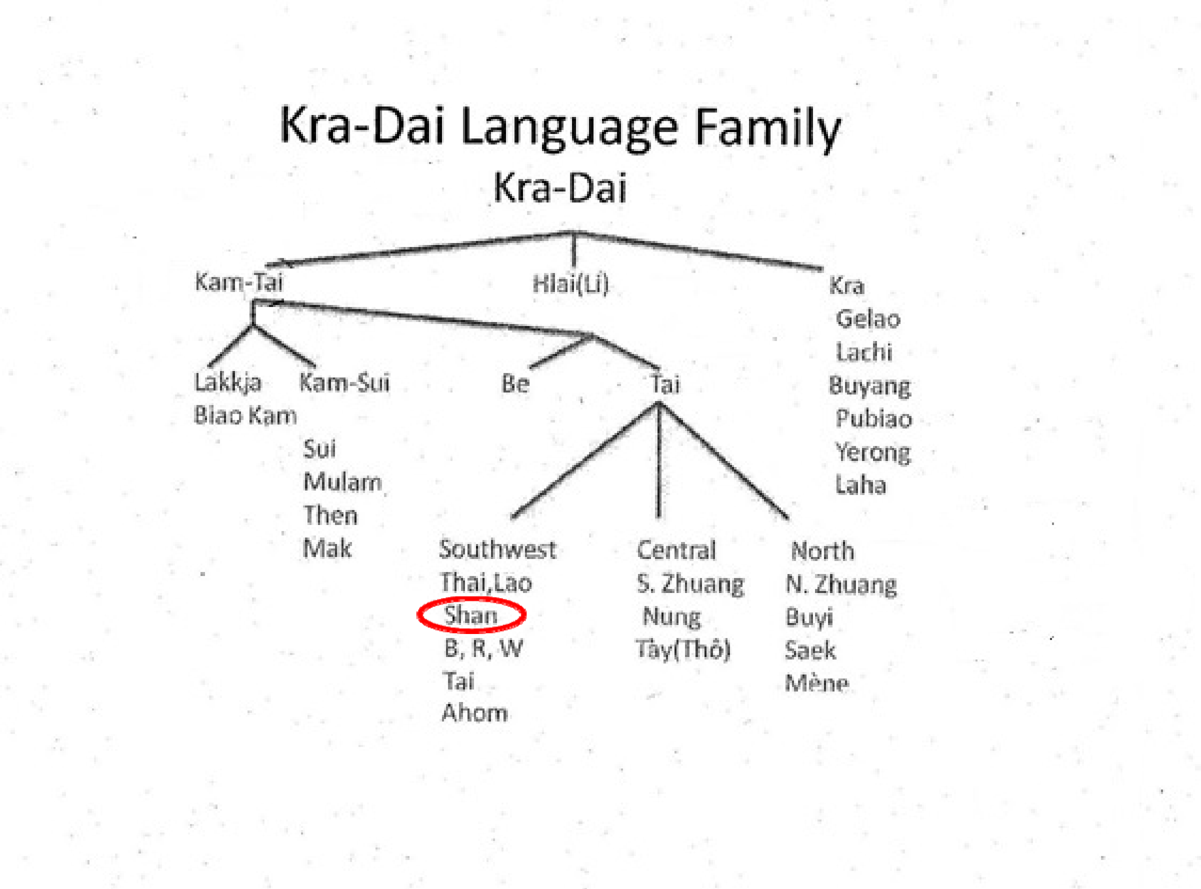
「それから、この精神状態のため苦痛が起きることもある」

ラカイン語(ビルマ語ラカイン方言)のニュース



シャン Shan

仏教徒が多い。

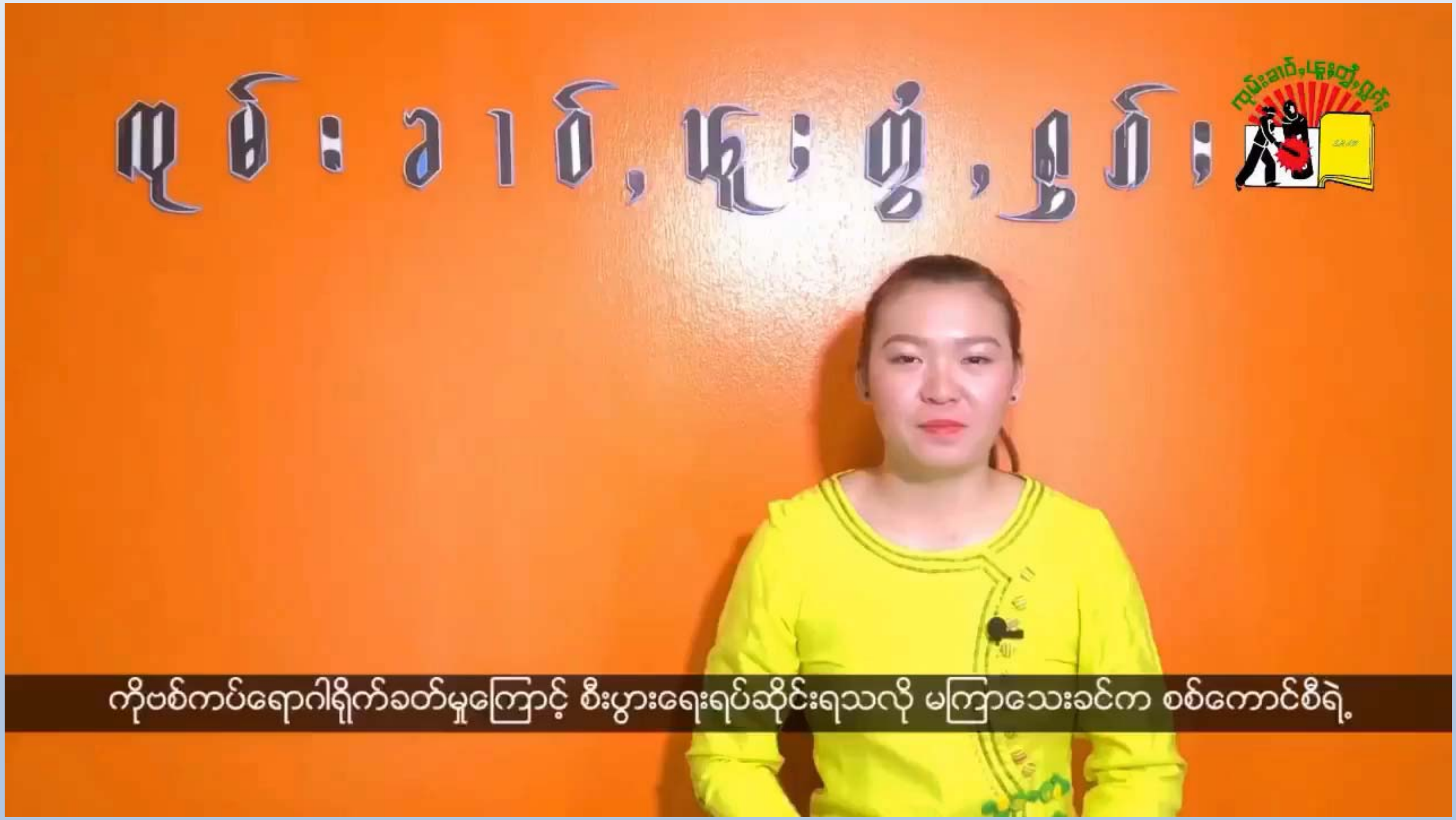


・シャン語（新谷 2001: 17） 正書法はモン=ビルマ系文字。

(19)	mä33hü55	khaw13	te13	maa55	lü33	may53
	あさって	彼ら	(未来)	来る	切る	木

「あさって彼らは木を切りに来る」

新谷忠彦（2001）*Pap Hen Lik Tay* Vol. 1. ms.



シャン語のニュース

モーケン (オーストロネシア系の言語を話す)

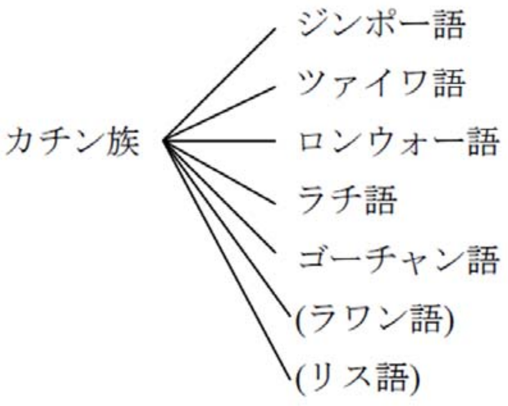
- 民族と言語の関係の複雑さ

様々な「チン語」(米国在住のチンの人々が作ったチン民族記念日の宣伝動画から)

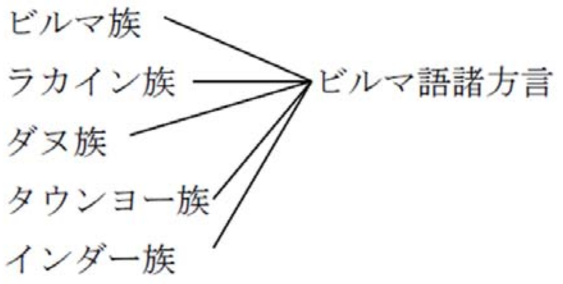
協力：大塚行誠先生

民族と言語の関係が複雑なケースがよくある。民族と言語が様々に対応する。

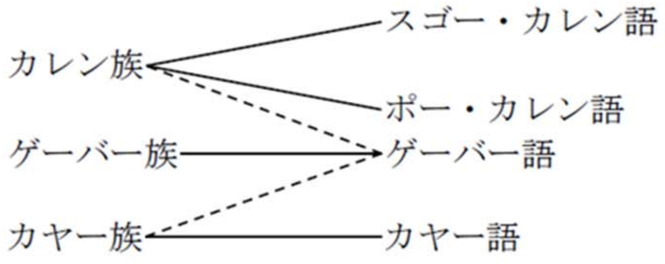
(ア) カチン族と言語の関係



(イ) ビルマ族、ラカイン族、ダヌ族、タウンヨー族、インダー族と言語の関係

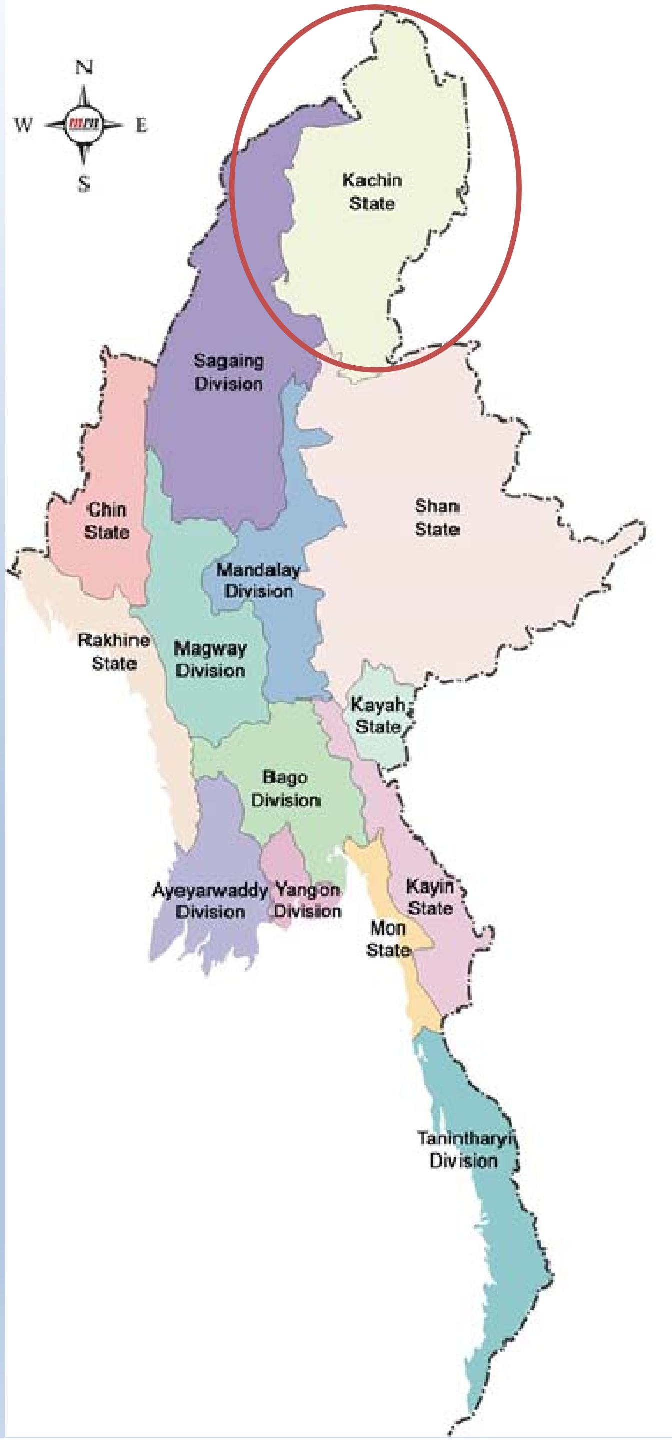


(ウ) カレン系諸民族（数十種が存在）の中の 3 民族と言語の関係（ゲーバー語の話し手は、時に、カレン族としての意識やカヤー族としての意識を持つことがある。)



カチン族のケース

カチン

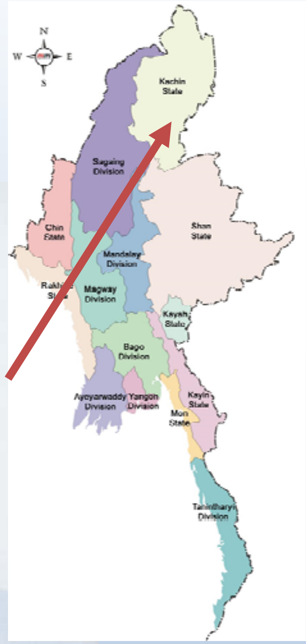

N
W
E
S
Kachin State
Sagaing Division
Chin State
Shan State
Mandalay Division
Rakhine State
Magway Division
Kayah State
Bago Division
Ayeyarwaddy Division
Yangon Division
Kayin State
Mon State
Tanintharyi Division

連邦記念日で披露されたカチン族の踊り

N
W
E
S
Kachin State
Sagaing Division
Chin State
Shan State
Mandalay Division
Magway Division
Kayah State
Bago Division
Ayeyarwaddy Division
Yangon Division
Kayin State
Mon State
Tanintharyi Division

カチン州の森林

カチン州の森林



カチン州の州都ミッチーナー

ミッチーナーでお世話になったカチン族の家族

旦那さんはロンウォー、奥さんはジンポー。家族内ではジンポー語を話している。

旦那さんは自分側の親戚とはロンウォー語で話す。

リスの集落

リスの集落

ロンウォー

ラチ

リスの子供たち

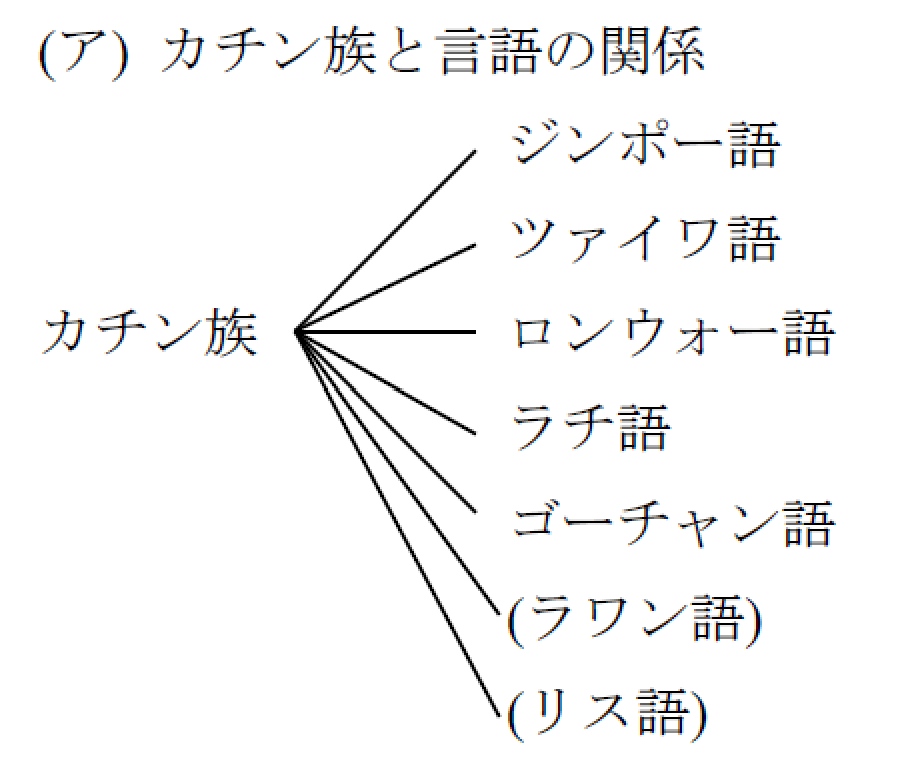
JINGHPAW WUNPAWNG HKALUP HPUNG GINJAW(KBC)
(3) LANG NA
LANAM CHYUM LAIKA SHARIN HPAWNG
HKRISTU NGU AI BAW HTE LAM SHAGU
HTA KABA
WA NA GA AI. Ehpesu 4:15
MYITKYINA.

ジンポー語での説教

ジンポー語、リス語、ビルマ語

ジンポー語、リス語、ビルマ語

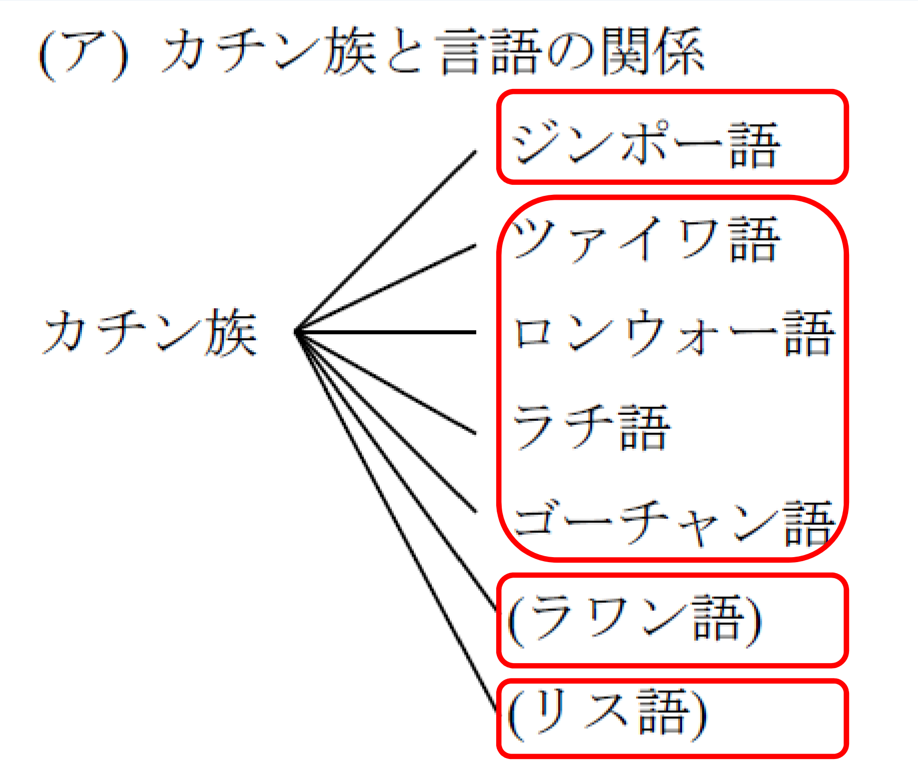
ジンポーのロングハウス



※ラワンとリスは一部がカチン族としての民族意識を持つ。

民族と言語が一対多の関係

参考:
Kurabe, Keita [倉部慶太] (2015) Jinghpaw and related languages. In Kenneth VanBik (ed.) *Continuum of the Richness of Languages and Dialects in Myanmar*, pp. 71-87. Yangon: Chin Human Rights Organization.
藪司郎(1994)「民族と言語」綾部恒雄・石井米雄(編)『もっと知りたいミャンマー』pp. 73-110, 東京: 弘文堂.



※ラワンとリスは一部がカチン族としての民族意識を持つ。

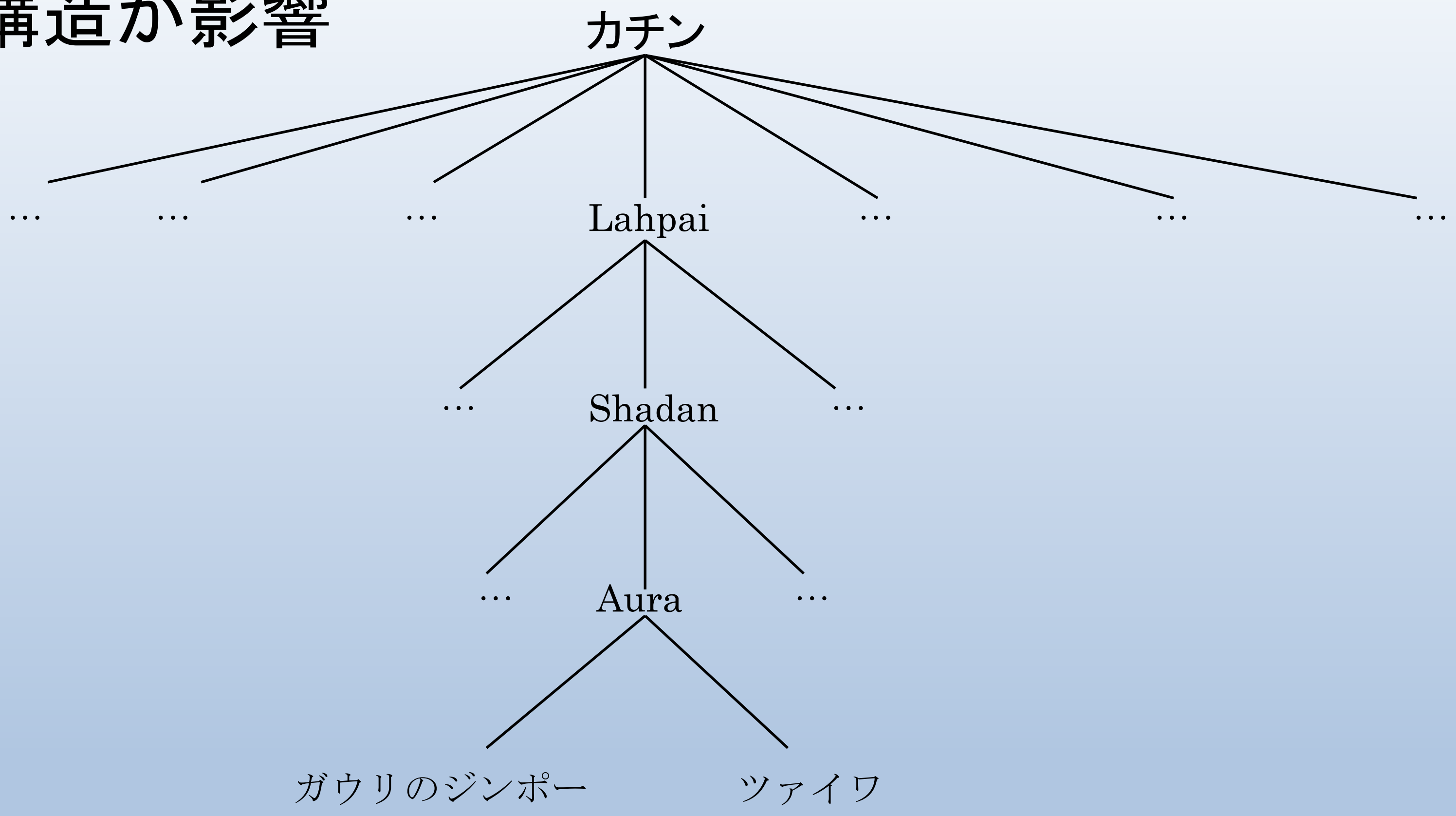
民族と言語が一対多の関係

参考:

Kurabe, Keita [倉部慶太] (2015) Jinghpaw and related languages. In Kenneth VanBik (ed.) *Continuum of the Richness of Languages and Dialects in Myanmar*, pp. 71-87. Yangon: Chin Human Rights Organization.

藪司郎(1994)「民族と言語」綾部恒雄・石井米雄(編)『もっと知りたいミャンマー』pp. 73-110, 東京: 弘文堂.

社会構造が影響



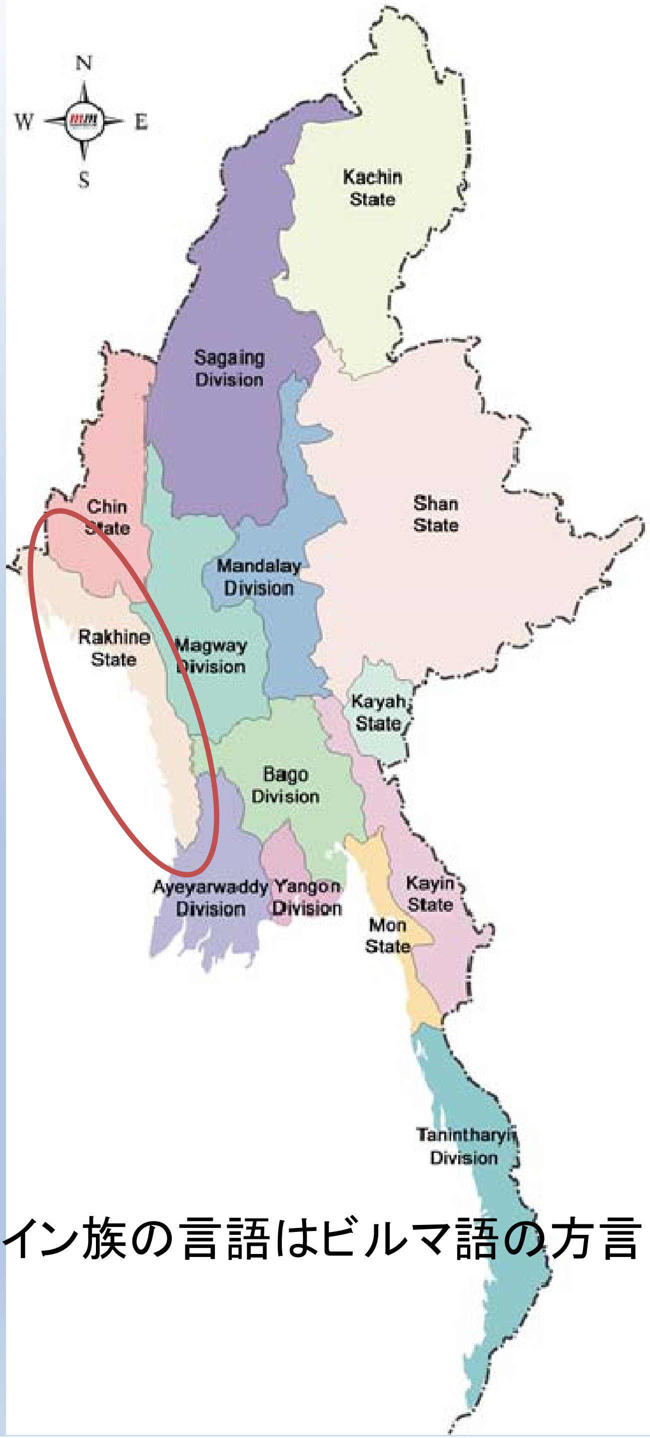
カチン族には7つから8つのクラン(clan 氏族)がある。それらは階層構造をなすいくつものリネージ(lineage 系統、家)からなる。ガウリというグループのジンポー人とツァイワ人は言語が異なるにもかかわらず、同じリネージに属する。

Leach, E. R. (1954) *Political Systems of Highland Burma: A Study of Kachin Social Structure*. London: The London School of Economics and Political Science.

澤田英夫(1998)「チベット・ビルマ諸語」新谷忠彦編『黄金の四角地帯』pp. 47-61, AA研

ビルマ語の方言を話す諸民族のケース

ラカイン



ラカイン族の言語はビルマ語の方言

N
W
E
S
Kachin State
Sagaing Division
Chin State
Shan State
Mandalay Division
Rakhine State
Magway Division
Kayah State
Bago Division
Ayeyarwaddy Division
Yangon Division
Kayin State
Mon State
Tanintharyi Division

ラカイン州の海岸

ラカイン族の集落と海

ラカイン族の集落と海

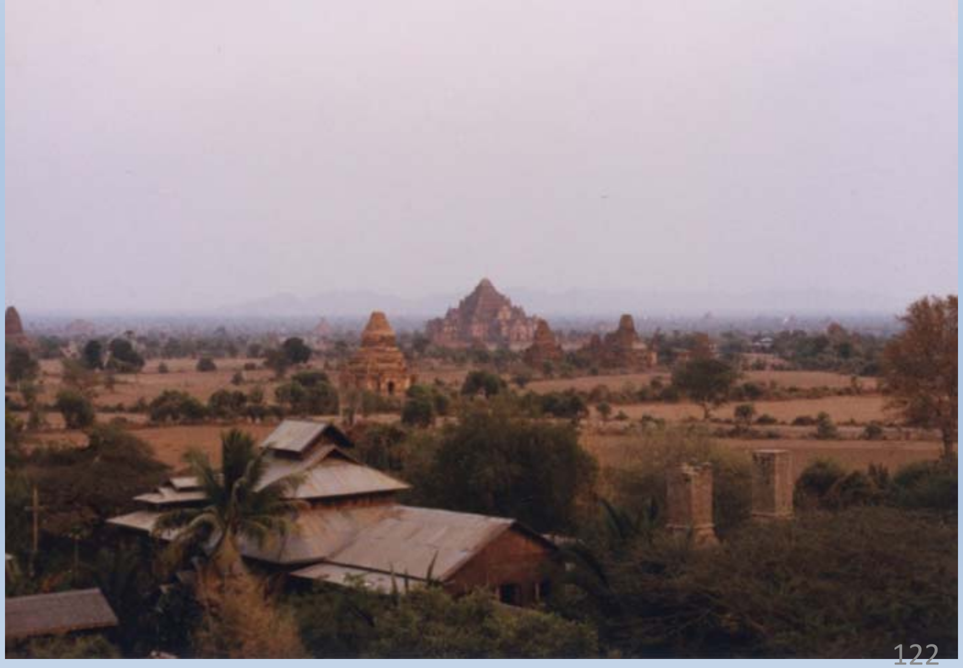
ラカイン族の集落と海

ラカイン州の海岸で

ラカイン族はビルマ族とは別個の王朝を持っていた。

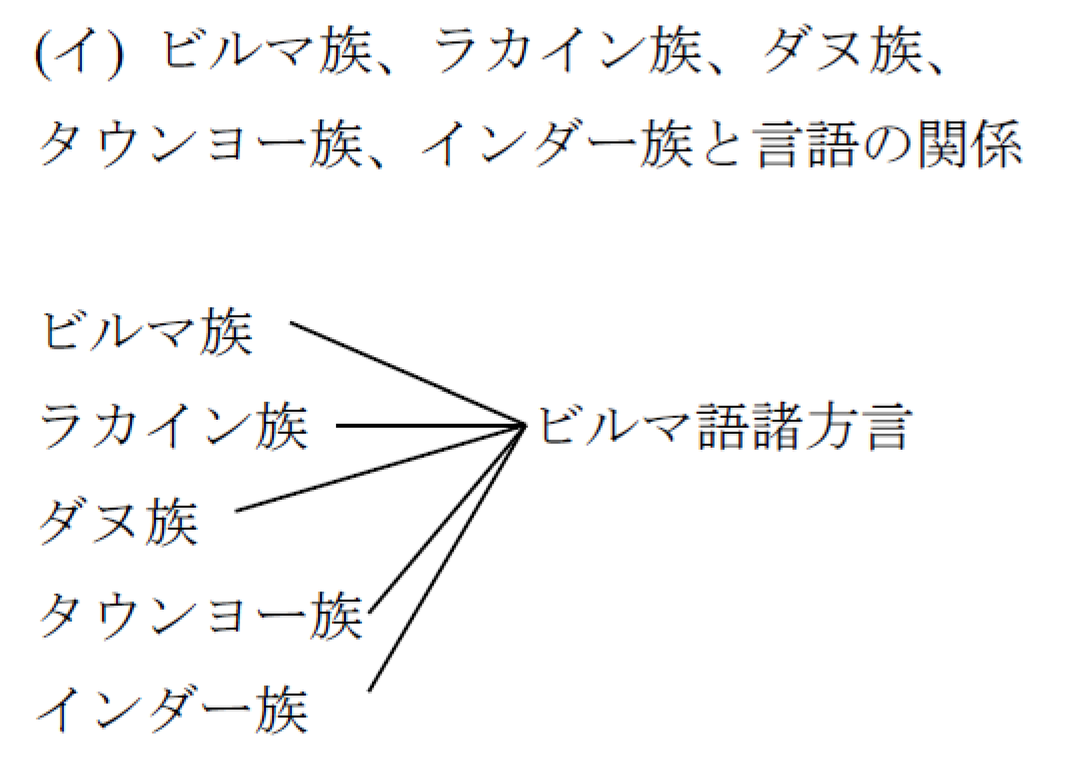
写真はMrauk Uにある仏塔群(15c頃?)

ビルマ族の王朝があったバガン
(バガン朝11～14世紀)



インレー湖畔に多く住むインダー族。ビルマ語のインダー方言を話す。

インダー族はシャン族の影響を強く受けている。



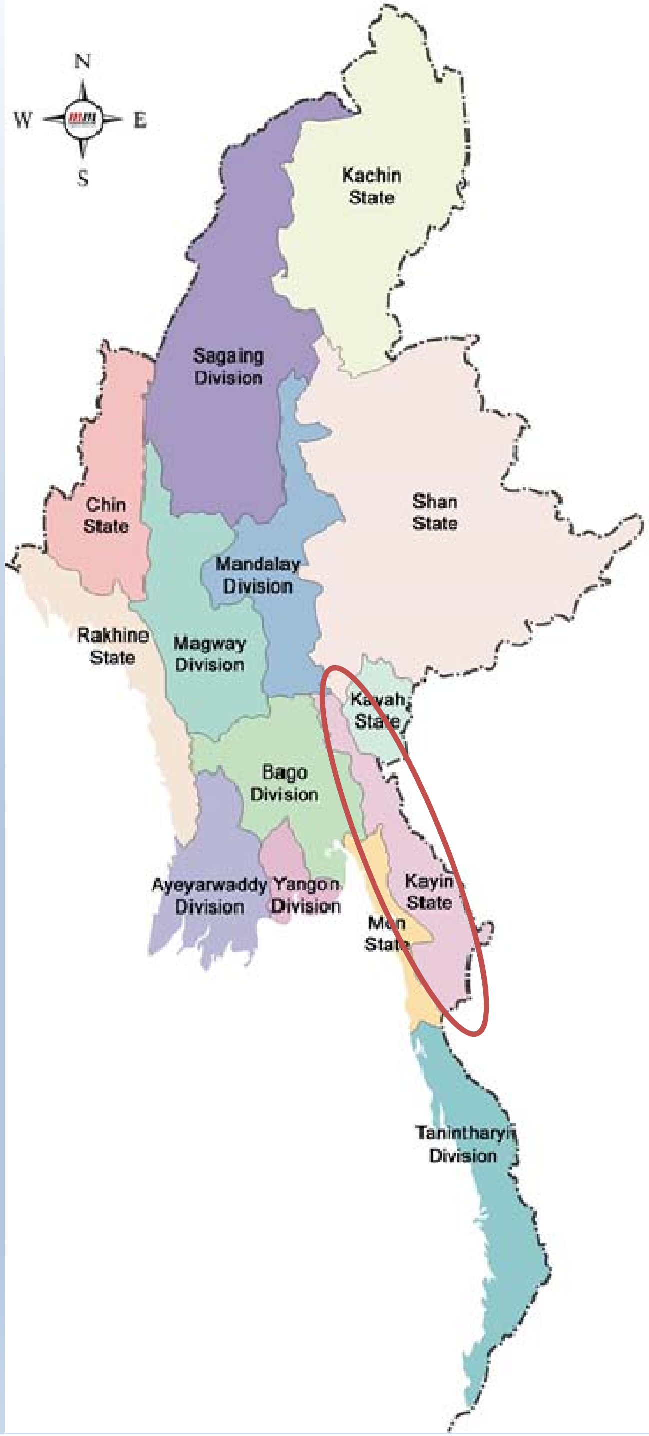
民族と言語が多対一の関係

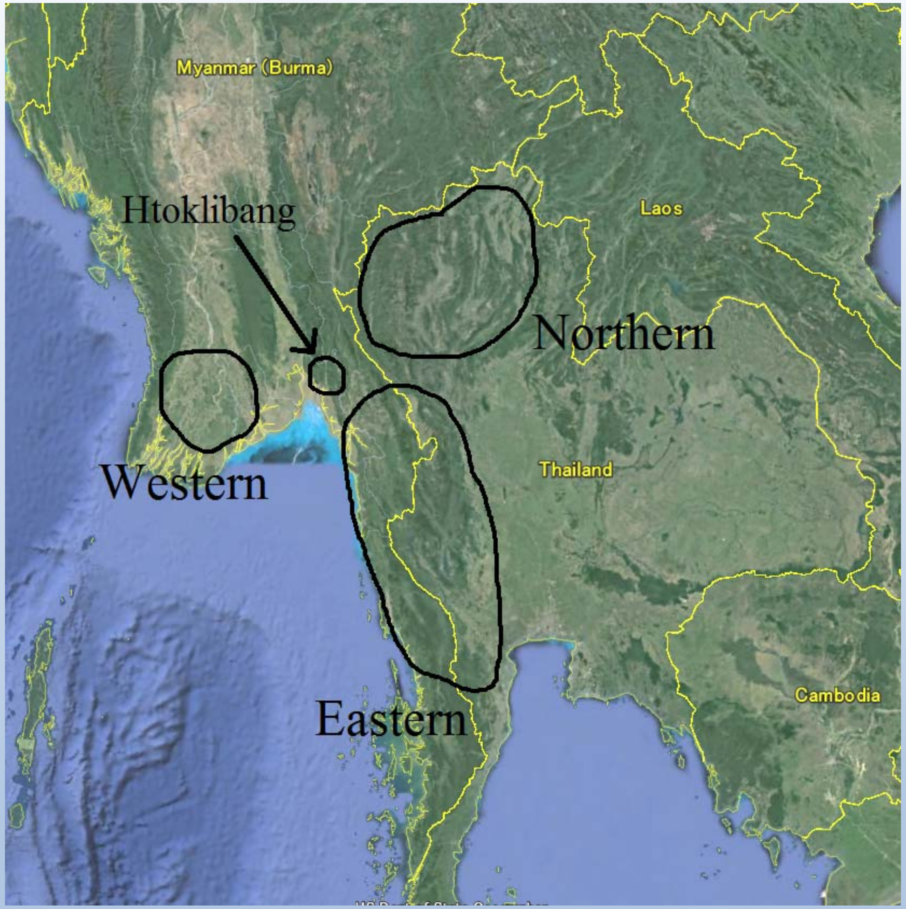
- 別個の王朝を持っていた
- ビルマとは別の民族の強い文化的・政治的な影響を受けている

カレン系言語を話す人々のケース

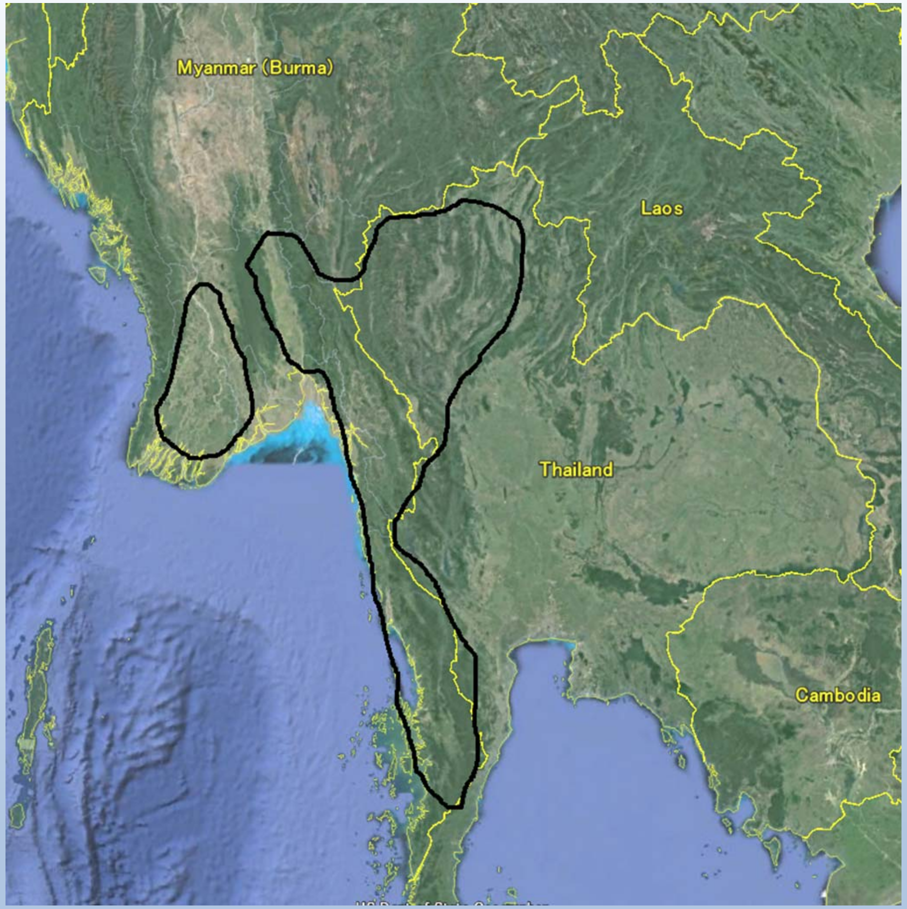
特にスゴー・カレン、ポー・カレン、ゲーバーを取り上げる

カレン


N
W
E
S
Kachin State
Sagaing Division
Shan State
Chin State
Mandalay Division
Rakhine State
Magway Division
Kawah State
Bago Division
Kayin State
Ayeyarwaddy Division
Yangon Division
Mon State
Tanintharyi Division

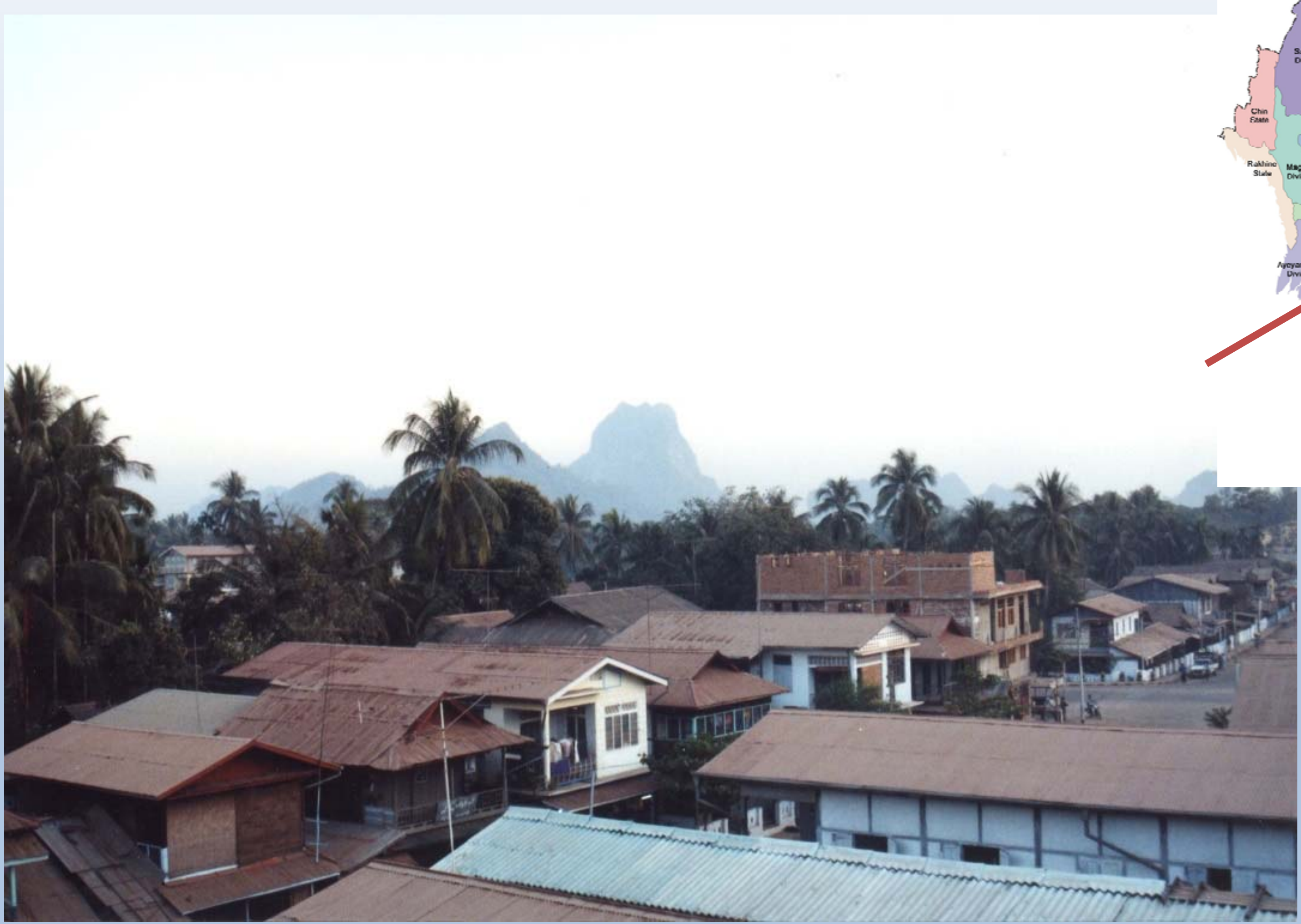


Pwo Karen



Sgaw Karen

狭義のカレン族：ポー・カレンとスゴー・カレン



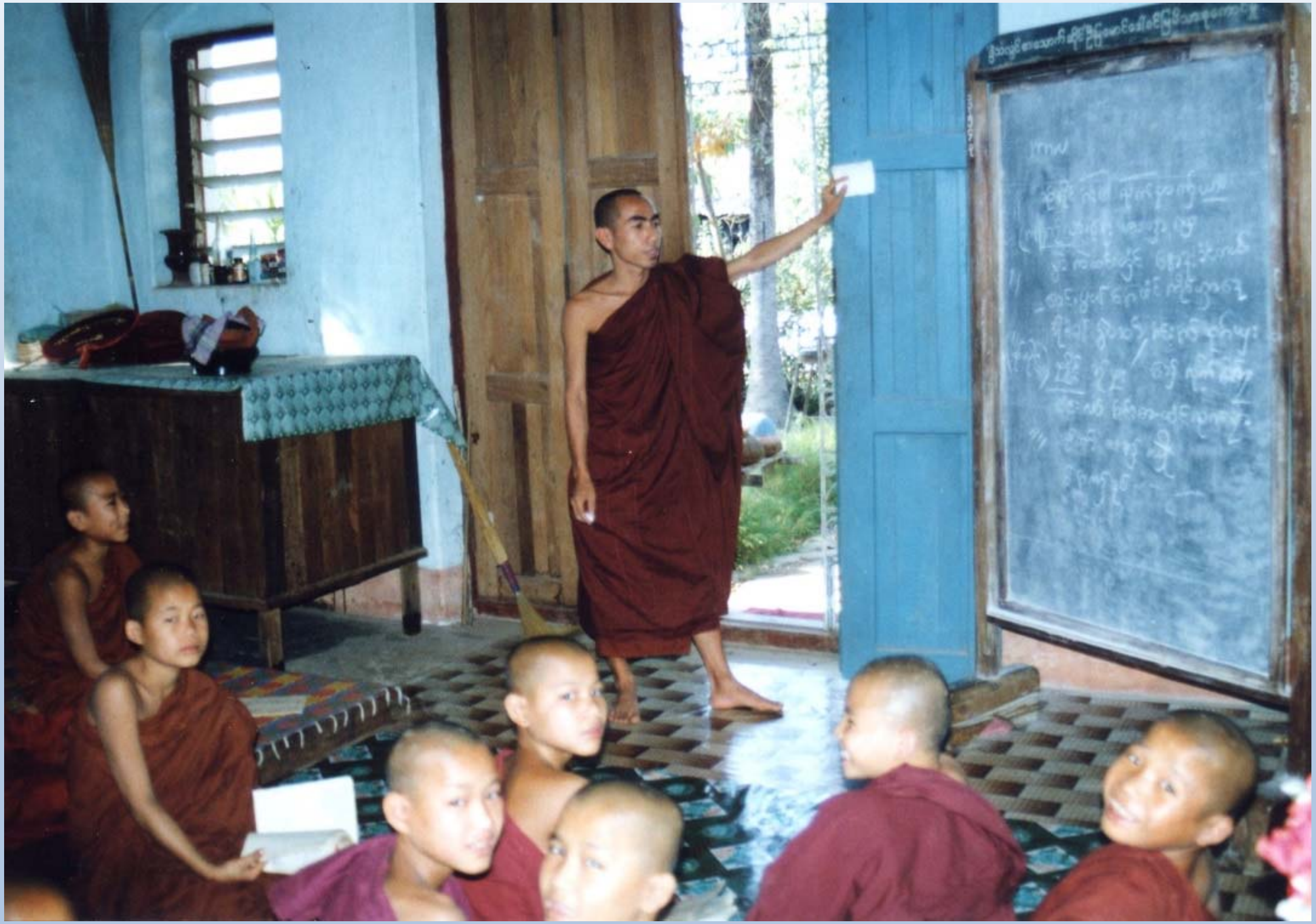
カレン州の州都パアン。ポー・カレンが多い。

N
W
E
S
Kachin State
Sagaing Division
Chin State
Shan State
Mandalay Division
Rakhine State
Magway Division
Kayah State
Bago Division
Ayeyarwaddy Division
Yangon Division
Kayin State
Mon State
Tanintharyi Division

ポー･カレンの伝統舞踊

ポー･カレンの伝統舞踊

夏休み(4月)を使ったポー･カレン文字講習



ポー･カレンの文字を教える僧侶
(カレン州のポー･カレンには仏教徒が多い)

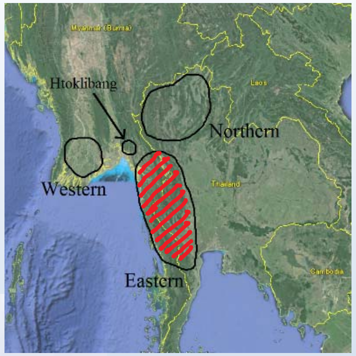
ポー・カレン語の貝葉文書を読む
(貝葉：ヤシの葉に文字を刻み込んだもの)

エヤワディ川デルタ地帯のポー･カレン村にて
(キリスト教徒の村)

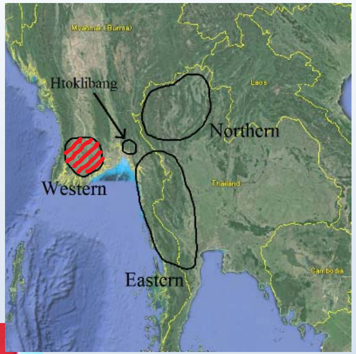
スゴー・カレンの男女。スゴー・カレンは比較的キリスト教徒が多い。

タイ側カンチャナブリ県山中のポー･カレン村
(カレン州のポー･カレン語で意思疎通可能)

「3つ」の「カレン語」



東部ポー･カレン語　ဖုံဆြၣ်ခုါင်



「3つ」の「カレン語」

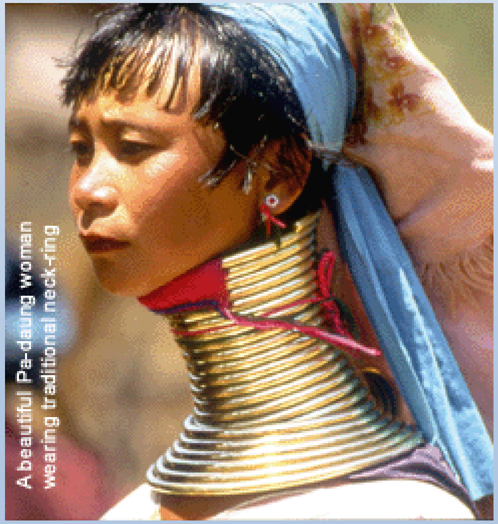
西部ポー・カレン語　ဖျိၩဆၫရဲၩ

「3つ」の「カレン語」

スゴー・カレン語　ပှၤကညီကျိာ်

タウングーにて

N
W
E
S
Kachin State
Sagaing Division
Chin State
Shan State
Mandalay Division
Rakhine State
Magway Division
Yangon Division
Kayin State
Mon State


A beautiful Pa-daung woman
wearing traditional neck-ring

カヤン (パダウン)

'99 3 1

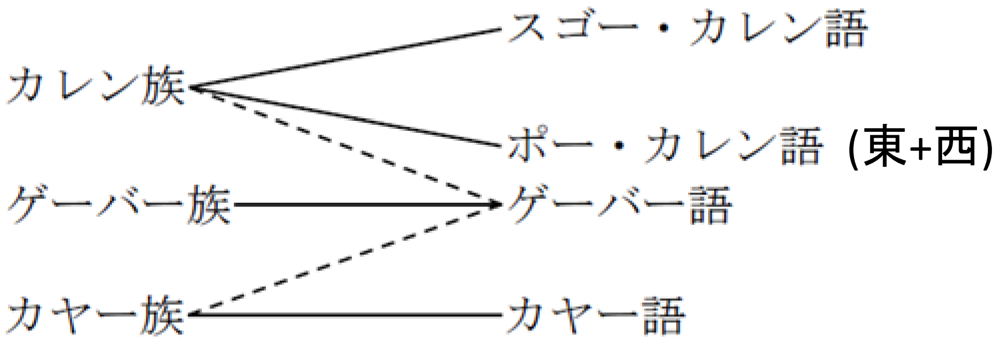
N
W
E
S
Kachin State
Sagaing Division
Chin State
Shan State
Mandalay Division
Rakhine State
Magway Division
Kayah State
Bago Division
Ayeyarwaddy Division
Yangon Division
Kayin State
Tanintharyi Division

パオ

N
W
E
S
Kachin State
Sagaing Division
Chin State
Shan State
Mandalay Division
Rakhine State
Magway Division
Kayah State
Yangon Division
Kayin State
Mon State
Tanintharyi Division

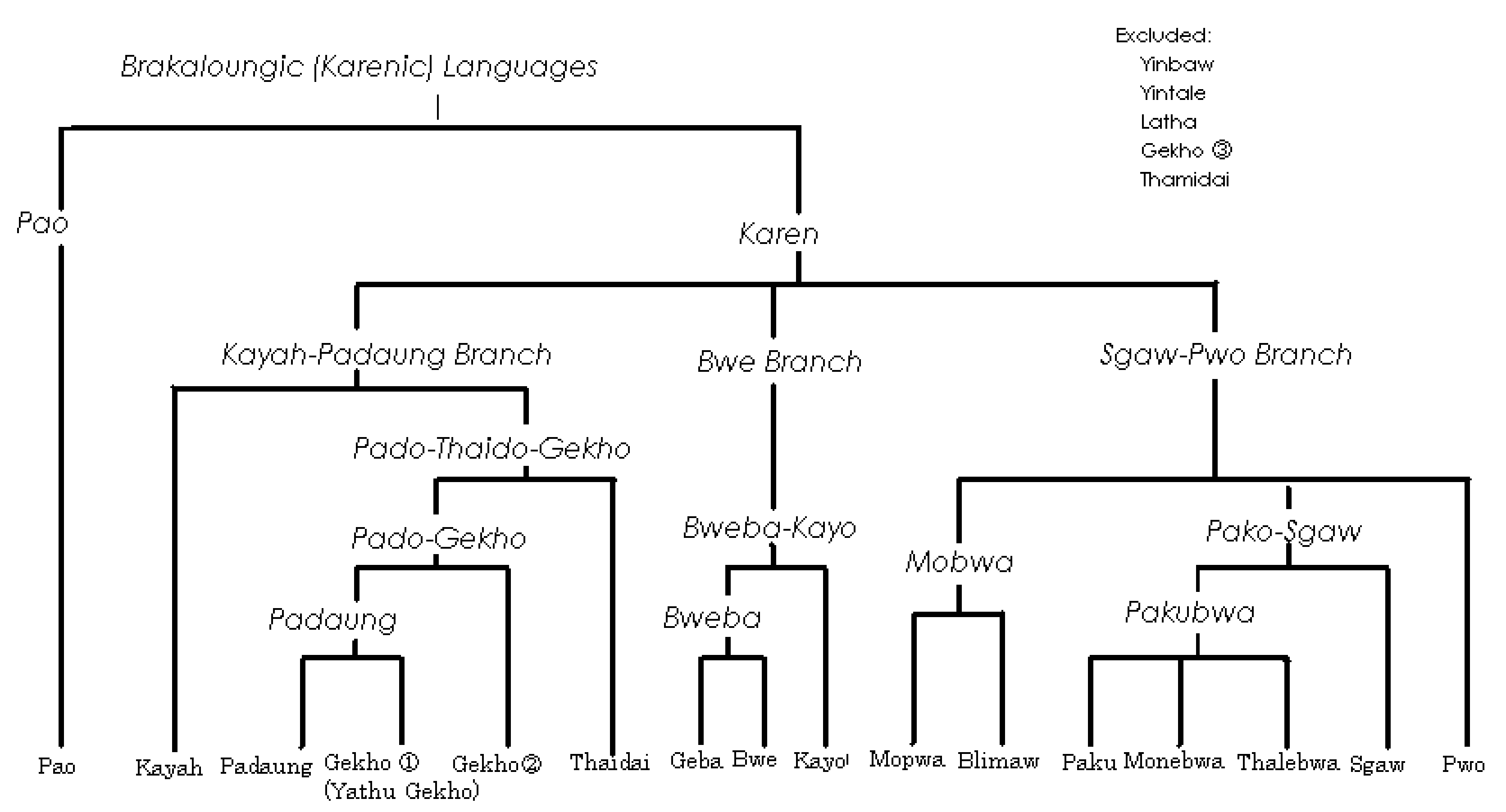
パオ

(ウ) カレン系諸民族（数十種が存在）の中の 3 民族と言語の関係（ゲーバー語の話し手は、時に、カレン族としての意識やカヤー族としての意識を持つことがある。）



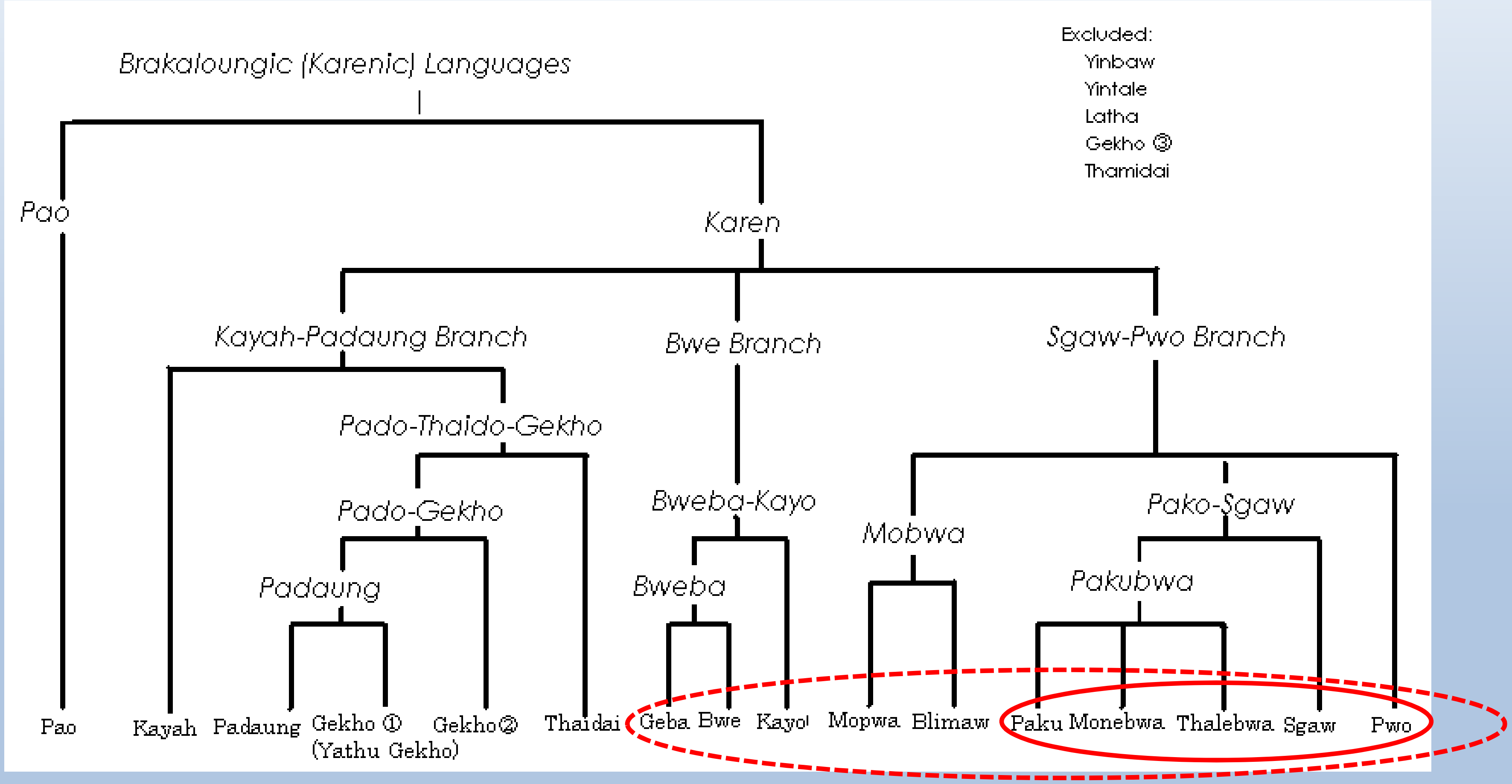
民族と言語が多対多の関係

カレン系諸言語の系譜関係



Shintani, Tadahiko L. A. (2003) Classification of Brakaloungic (Karenic) languages in relation to their tonal evolution. In Shigeki Kaji (ed.) *Proceedings of the Symposium Cross-linguistic Studies of Tonal Phenomena*, pp.37-54. Tokyo: Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa.

カレン系諸言語の系譜関係



Shintani, Tadahiko L. A. (2003) Classification of Brakaloungic (Karenic) languages in relation to their tonal evolution. In Shigeki Kaji (ed.) *Proceedings of the Symposium Cross-linguistic Studies of Tonal Phenomena*, pp.37-54. Tokyo: Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa.

カレン系民族の仲間意識とよそ者意識

・言語の遠近
・地理的な遠近
・伝統文化の共有 (衣装、祖霊を呼ぶ儀式等の祭祀)
・宗教 (仏教とキリスト教、キリスト教の教区)
・政治 (ビルマ族への対抗意識。より多くの民族が団結すればビルマ族に対抗できる大きな勢力となり得る)

まとめ

・ミャンマーには多くの民族が住んでいる。それら民族の話す諸言語のタイプは様々であり、言語系統も様々である。

・ミャンマーの民族と言語の関係は単純ではない。一般に言語は民族意識の形成に大きな要因として機能する。ミャンマーにおいてもその側面が観察できることは事実であるが、言語が民族意識と一対一で対応しないことがよくあるのも事実である。

この国の民族問題の複雑さは言語に関わるこういった事実からも見て取れる。